資料3－1

令和6年度第1回仁淀川地域アクションプランフォローアップ会議資料

第５期仁淀川地域アクションプランの
進捗状況確認資料

仁　淀　川　地　域　本　部

令和６年 10 月 28 日（月）

仁淀川地域アクションプランの進捗状況確認資料

R6.10.28
仁淀川地域本部

1　地域アクションプランの令和６年度上半期の実施状況(総括)

(1)総評

令和６年度は、土佐市で商工業分野に新たに「土佐市における木毛（もくめん）を核とした製品の販路拡大とブランド化」が加わり、全29項目のアクションプランについて、実行支援チームを編成し、事業推進に向けた協議と進捗管理を行うとともに、各種支援制度の活用等により、それぞれの目標の達成に向けて取り組みを進めている。

当地域では、地域アクションプランのこれまでの成果と課題を踏まえつつ、市町村で策定されている第２期まち・ひと・しごと創生総合戦略の取り組みとも歩調を合わせながら、一次産業をはじめとする地域産業の振興に取り組んでいる。

また、地域産業の共通課題である担い手の育成や労働力の確保については、県と市町村との協働のもとに進めている移住政策や、各産業分野の担い手育成・労働力確保の対策等ともリンクをさせながら取り組んでいる。

加えて、地域資源を活用した商品づくりや販売促進を行うことで、地産外商の一層の強化を図るとともに、「奇跡の清流仁淀川」や「仁淀ブルー」と称され、全国的に人気が高まっている仁淀川をテーマとした広域観光をさらに推進し、交流人口の拡大を図っている。

農業分野

温暖な気候と立地条件を生かした園芸産地の基幹品目を中心にデータ駆動型農業への転換、生産・出荷体制の強化、販売促進やブランド化等をさらに進めるとともに、高糖度トマトやショウガの生産や商品開発、販路拡大の取り組みを推進する。また、仁淀川地域の「仁淀川流域茶」（仕上げ茶）、薬用作物、本川手箱きじ等、地域特性を生かした農畜産物の生産・加工・販売の取り組み等により、農業者の所得向上や担い手の確保に取り組んでいる。

林業分野

林業分野では、森林の集約化による施業地の確保、担い手の育成・確保、計画的な原木生産の拡大とともに、自伐型林業と地域おこし協力隊の組み合わせによる小規模林業を推進する。また、中山間地域の貴重な収入源となる特用林産物についても、安定的な需要が期待できるシキミやサカキの生産拡大、原木マイタケや菌床キクラゲ等きのこ類の生産拡大や販路拡大を進めることによって、生産者の所得向上や担い手の確保に取り組んでいる。

水産業分野

地域の特産品である「宇佐の一本釣りうるめいわし」等の鮮魚を活用した新たな加工品の開発や販路の開拓等に取り組む。さらに、マダイやカンパチ等、県内養殖魚や地元食材を活用した水産加工場が稼働しており、商品開発や国内外への販路開拓を進めることにより、養殖産業の振興、地元産品の利用拡大及び雇用の創出を図っている。

商工業分野

中心市街地活性化計画の着実な実行や、茶や野菜、地乳等の地域資源を活用した特産品や新商品の開発・販路拡大、販売の拠点となる集客施設の経営改善や新たに整備された道の駅への集客及び販売促進等に取り組む。また、地域の特産品を活用したアイス製造業の生産能力の拡大や、木毛（もくめん）等の地域資源を活用した製品開発や販路拡大に取り組む。地域の伝統産業である「土佐和紙」についても、「土佐和紙総合戦略」に基づき原料づくり、担い手づくり、商品開発や PR 等の付加価値づくりの取り組みを県・市町村・関係団体等が一体となって進めている。

観光分野

一般社団法人仁淀ブルー観光協議会を舵取り役として、市町村・関係団体等との連携をさらに強化し、マーケットインに基づく旅行会社へのプロモーション活動や SNS 等を活用した情報発信、体験メニューの開発・磨き上げ、訪日外国人旅行者の受入体制の整備等、域内への経済波及効果の拡大に向けて引き続き取り組みを進めている。

また、NHK 連続テレビ小説「らんまん」の放送や高知県観光博覧会「牧野博士の新休日～らんまんの舞台・高知～」の開催等を通じて得られた集客の効果を今後も持続させるとともに、これまで以上に草花や自然、食や歴史等、仁淀川地域の魅力を満喫していただけるよう、市町村や関係機関とも連携しながら「滞在型観光」を推進し、更なる観光振興、地域活性化を目指している。

(2)目標の達成に向けた進捗状況等

※達成度の基準について

進捗状況の基準	
S	数値目標の達成率　110%以上
A	数値目標の達成率　100%以上110%未満
B	数値目標の達成率　　85%以上100%未満
C	数値目標の達成率　　70%以上　85%未満
D	数値目標の達成率　　70%未満
－	達成度の判断が困難なもの

【P(Plan)】								【D(Do)】	【C(Check)】・【A(Action)】		
									現時点の進捗状況		
分野	No.	項目名・実施主体	指標	出発点	R6 到達目標	R9 目標	R6計画	R6取り組み状況	R6到達目標 に対する現状	達成度 (※)	現状分析
農業	1	**仁淀川地域の薬用作物の生産性の向上による産地振興** (仁淀川町、佐川町、越知町、日高村) 【実施主体】 ・◎(農)ヒューマンライフ土佐 大手製薬会社と契約栽培を行っているミシマサイコ・サンショウ・ダイダイなどの薬用作物について、生産農家の所得の向上と就労の場の確保を図るため、乾燥作業の改善や栽培管理、病害虫防除の指導を徹底し、漢方薬の需要増に対応した生産拡大と生産性の向上に取り組む。	ミシマサイコ 製品量 (乾燥重量) 会計年度： 5月～4月	0.3t (R4)	0.6t	0.9t	**1　生産体制の強化** ・自社ほ場管理等の人員確保 ・新規栽培者等の勧誘 **2　安定生産への取り組み** (乾燥作業の改善) ・乾燥作業の状況確認 (薬用作物の栽培管理、病害虫防除指導) ミシマサイコ ・病害防除指導（根朽ち病、斑点病防除指導） ・栽培管理指導（秋まき2年栽培、基本管理指導） ・根朽ち病、斑点病に対応できる農薬登録拡大推進	**1　生産体制の強化** ・自社ほ場管理等の人員確保：退職予定者による人員不足に備え前年度中に人員の先行確保 ・新規栽培者の勧誘：秋植え2年作栽培の周知及び栽培者の勧誘(115人(6/20)) **2　安定生産への取り組み** (乾燥作業の改善) (薬用作物の栽培管理、病害虫防除指導) ミシマサイコ ・病害虫防除指導（4月1人　6月1人　9月1人） ・根朽ち病、斑点病に対応した農薬登録に向けた試験実施（５～７月）	－ （収穫期間がR7.1月～3月のため掲載なし） ・R6到達目標達成率：－% ・対前年同期比：－%	－	**(成果)** ・買い取り業者が薬効成分が高いとして2年間栽培した製品を要求していたが、秋まきも2年間栽培の対象とする（従来は春まき）緩和策が提示されたことと、買い取り単価が引き上げられたことに関心を示す生産者がみられた。 **(課題)** ・根朽ち病の防除 **(今後の方向性)** ・根朽ち病、斑点病の防除に対応できる農薬登録拡大を申請し、現在試験を行っており、登録後は新薬剤によって防除対策を充実させる。 ・ミシマサイコについては、買い取り業者が2年間栽培薬効成分が高いとして2年間栽培した製品を要求していたが、秋まきも対象（従来は春まき）とし、買い取り単価を引き上げたことを契機として作付けの再開や新規栽培開始を推進する。
			サンショウ 製品量 (乾燥重量) 会計年度： 5月～4月	23.6t (R2～4平均)	20t (R6)	40t (R6～9平均)	サンショウ ・現地検討会、栽培・剪定講習会の開催 ・病害防除指導(さび病防除) ・栽培管理指導(接ぎ木・剪定・施肥管理等) ・さび病防除に対応できる農薬登録拡大推進 ダイダイ ・現地検討会、栽培・剪定講習会の開催 ・病害防除指導(そうか病、かいよう病防除) ・栽培管理指導(剪定・施肥管理)	サンショウ ・栽培講習会の開催:91人(6/7) ・さび病防除資料の配布:93人(4/10)、93人(5/2)、60人(6/14) ・さび病防除に対応できる農薬登録拡大試験を実施（5月～7月） ・刻みサンショウ出荷調製作業の農福連携体験研修を実施：15人（9/20） ダイダイ ・栽培講習会の開催:47人(6/7) （そうか病、かいよう病防除資料配付）	－ （収穫期間（R6.7月～8月）であるが、出荷製品量の集計に時間を要するため掲載なし） ・R6到達目標達成率：－% ・対前年同期比：－%	－	**(成果)** ・栽培講習会後に防除等についての問い合わせが増えており（4件）、生産者の関心が高くなったことがうかがえる。 ・農福連携体験研修を行うことで刻みサンショウの出荷調製作業を就労継続支援B型事業所にマッチングすることが出来、出荷調整作業の労働力確保につながった。 **(課題)** ・R6年産は裏年にあたり１枝あたりの着果数が少なかった。(前年比19%減) ・適正管理を実施した生産者は確実に収量増が見られることから、今後も病害虫防除や施肥等の基本的な管理指導の徹底が必要 **(今後の方向性)** ・引き続き病害虫防除や適正施肥についての指導を行い、製品出荷量の向上を図る。 ・さび病防除に対応できる農薬登録拡大を申請し、現在試験を行っており、登録後は新薬剤によって防除対策を充実させる。 ・次年度は表年にあたり着果量が多くなることから、1～2月の剪定作業によって着果量を抑制し（果実が実りすぎないようにして）、翌年に向けて草勢を維持する。
			ダイダイ 製品量 (乾燥重量) 会計年度： 5月～4月	13.9t (R4)	14t	26.6t			－ （収穫期間（R6.6月～8月）であるが、出荷製品量の集計に時間を要するため掲載なし） ・R6到達目標達成率：－% ・対前年同期比：－%	－	**(成果)** ・栽培講習会後に土壌分析の依頼等が増えており、生産者の関心が高くなったことがうかがえる。 **(課題)** ・R4年12月に発生した大雪により枝が折れる被害からのほ場の回復 **(今後の方向性)** ・栽培講習会（剪定技術）等を開催し被害木の樹勢の回復を図る。 ・規模拡大や新規作付けを増やし、生産の拡大を図る。

(2)目標の達成に向けた進捗状況等

※達成度の基準について

進捗状況の基準	
S	数値目標の達成率　110%以上
A	数値目標の達成率　100%以上110%未満
B	数値目標の達成率　　85%以上100%未満
C	数値目標の達成率　　70%以上　85%未満
D	数値目標の達成率　　70%未満
－	達成度の判断が困難なもの

【P(Plan)】								【D(Do)】	【C(Check)】・【A(Action)】		
									現時点の進捗状況		
分野	No.	項目名・実施主体	指標	出発点	R6 到達目標	R9 目標	R6計画	R6取り組み状況	R6到達目標 に対する現状	達成度 (※)	現状分析
農業	2	**日高村まるごとブランド化** (日高村) 【実施主体】 ・◎日高村 ・◎(株)村の駅ひだか ・◎(特非)日高わのわ会 ・◎JA高知県(仁淀川地区) ・JA高知県日高支所ハウス園芸部会 ・(株)イチネン高知日高村農園 ・日高村商工会 ・(株)霧山茶園 高糖度トマト生産における販売戦略や地域ネットワーク、産地間競争力を強化し、生産者の所得向上につなげる。地域の特産品等の開発・販売活動や「日高まるごとイタリアンプロジェクト」の推進により、日高村の知名度やブランド力の向上を図り、交流人口の拡大と地域の活性化を目指す。	農産物等の売上高	7.09億円 (R4)	7.18億円	7.48億円	**1 経営管理能力及び生産力の向上** ・個別農家の経営改善目標の達成と向上、労働力の確保と作業員の効率的な労務管理 ・栽培マニュアル等を活用した生産技術の向上支援 ・環境データや出荷データを活用した品質、収量の向上支援 ・個別経営目標の設定 ・労働力確保に向けた取り組みの実施 **2 特産品の開発と販売力の向上** (特産品の開発と機能性に着目した販促活動の展開) ・大学等と連携した商品開発及び販路開拓等の実施 ・日高村アグリネットワークと連携した特産品等の開発及び県内外への販促活動の実施 ・産振アドバイザー制度、産振補助金の活用の支援 (加工施設の整備) ・新たな加工施設の整備及び稼働に向けた取り組み ・産振アドバイザー制度、産振補助金の活用の支援 **3「日高まるごとイタリアンプロジェクト」の推進** ・プロジェクト推進に係る会議の開催、オムライス街道事業の実施、トマトやオムライスを活かしたローカルブランディング、移住促進策の推進 ・村内事業者の、基幹産業を活かした商品開発、オムライス街道事業への参画によるオムライス販売、日高村アグリネットワークへの参画	**1　経営管理能力及び生産力の向上** ・栽培講習会及び現地での技術指導の実施(4回) ・個別巡回による栽培指導の実施 (49回：促成23回、夏秋26回) ・出荷実態調査(4回(毎月確認)) ・農家への経営カウンセリング及び個別経営目標設定(6回19戸) **2　特産品の開発と販売力の向上** ・県版GAP点検(出荷場)(2回) ・農家へのGAP指導(講習会等) (2回：促成1回、夏秋1回) (特産品の開発と機能性に着目した販促活動の展開) ・夏秋高糖度トマトに係る販売会議(1回) ・出荷予測精度向上に係る着果調査(4回) ・(株)イチネン高知日高村農園による新商品の開発、販売(1件) (加工施設の整備) ・日高わのわ会加工場の移転・改修による生産体制の強化に向けた取り組み 事業者・コンサル・県(地域本部等)協議(4～6月) 整備計画及び整備スケジュールについて専門家から助言(7月) (産振アドバイザー制度を活用) 村・事業者・県（地域本部等）協議(7～8月:4回) 産振補助金の事業採択申請(8月)、採択通知(9/30) **3 「日高まるごとイタリアンプロジェクト」の推進** (「日高まるごとイタリアンプロジェクト」の推進による地域活性化) ・オムライス街道事業の検討会の実施(8月) →観光協会の会員で構成するオムライス街道部会の立ち上げ及び今後の企画について、検討開始 ・高知暮らしフェア(東京・大阪)への参加 →2日間(6月開催)での相談件数：13件	2.58億円 (R6.4月～7月) ・R6到達目標達成率：107.8% ・対前年同期比：100.4%	**A**	**(成果)** ・前作の課題を整理し、個別経営目標を設定 ・定植前の準備状況を確認し、土作り等を支援 ・(株)イチネン高知日高村農園による新商品の開発、販売(1件) ・(特非)日高わのわ会加工場の移転・改修による生産体制の強化に向け産振アドバイザー制度を活用し施設整備の課題解決方法を整理 ・(特非)日高わのわ会・役場・県(地域本部等)の協議を重ね、産振補助金の事業採択申請し、事業採択 **(課題)** ・低収量農家の技術力向上 ・日高わのわ会加工場の移転・改修の年度内の実現 ・日高村アグリネットワークによる販促活動の再開 ・オムライス街道事業の継続 **(今後の方向性)** ・栽培状況を確認し、データを活用した品質、収量の向上に向けて支援 ・日高わのわ会加工場の移転・改修の年度内実現に向けた進捗管理、及びその後の安定した運営、販促拡大に向けた支援 ・日高村アグリネットワークの活動再開に向けた意識合わせ ・観光協会の会員で構成するオムライス街道部会を立ち上げて企画・実行に向けた取り組みを支援
			村の駅ひだかの売上高	2.08億円 (R4)	2.15億円	2.16億円			0.98億円 (R6.4月～9月) ・R6到達目標達成率：91.2% ・対前年同期比：95.1%	**B**	
			商品・加工品開発件数	15件 (R2～4累計)	6件	25件 (R6～9累計)			1件 (R6.４月～8月) ・R6到達目標達成率：16.7% ・対前年同期比：11.1%	**D**	
			村外からの移住者数	26組 (R2～4累計)	5組	20組 (R6～9累計)			4組 (R6.４月～8月) ・R6到達目標達成率：80.0% ・対前年同期比：44.4%	**C**	

(2)目標の達成に向けた進捗状況等

※達成度の基準について

進捗状況の基準	
S	数値目標の達成率　110%以上
A	数値目標の達成率　100%以上110%未満
B	数値目標の達成率　　85%以上100%未満
C	数値目標の達成率　　70%以上　85%未満
D	数値目標の達成率　　70%未満
－	達成度の判断が困難なもの

【P(Plan)】								【D(Do)】	【C(Check)】・【A(Action)】		
									現時点の進捗状況		
分野	No.	項目名・実施主体	指標	出発点	R6 到達目標	R9 目標	R6計画	R6取り組み状況	R6到達目標 に対する現状	達成度 (※)	現状分析
農業	3	**いの町生姜生産・販売拡大プロジェクト** (いの町) 【実施主体】 ・◎いの町 ・JA高知県(伊野支所) ・いの町商工会　等 生姜の集出荷場整備を契機に生姜生産農家、地元加工業者等が連携し、生産拡大に取り組んでおり、近年の生姜価格の低迷、資材や燃料、肥料高騰等、生産環境の悪化に対応するため、品質向上・コスト削減の取り組みによって産地を堅持し、生姜を核としたいの町の振興に取り組む。	囲生姜 出荷量 年産:秋収穫で出荷量実績は1月頃	538t (R5)	540t	580t	**1　安定生産の強化** (品質向上・安定生産) ・出荷調整作業時の乾燥防止対策の徹底 ・鳥獣被害対策に係る支援策の拡充(防護柵設置、狩猟期間中の補助) ・肥培管理の改善(土壌分析等にもとづく適正量施肥の推進) (コスト低減に向けた研究) ・竹チップを活用した土壌改良の検証 ・安価な土寄せ資材の検討及び土寄せの推進 ・低コスト肥料の開発の検討及び肥培管理の改善(土壌分析等にもとづく適正量施肥の推進) (担い手の確保・育成) ・新規就農者の確保(提案書の改定、就農相談会への参加、就農計画の作成) ・新規就農者の育成（就農計画の実践支援） ・いの町管内小学校で出前授業の実施	**1　安定生産の強化** (品質向上・安定生産) ・乾燥防止対策(保存方法の改善)の実施(4月～) ・いの町有害鳥獣捕獲報奨金制度の期間を通年に拡充(4/1施行) ・肥培管理改善に向けた検討(PT会):1回 (コスト低減に向けた研究) ・竹切り出し・搬出(8/20)、研究会発足(9/5)、チッパー処理(9/5)、竹堆肥に向けた打合せ(10月予定) ・肥料メーカーに低コスト肥料の開発依頼、肥培管理改善に向けた検討(PT会):1回 (担い手の確保・育成) ・就農相談:2回、就農計画の作成:5回、研修生面談:1回 ・経営発展支援事業内容確認:1回、新規就農者面談:2回 ・出前授業打ち合わせ:2回	－ (R6.4月～9月) 出荷量は年1回調査 ・R6到達目標達成率：－% ・対前年同期比：－%	**－**	**(成果)** **1　安定生産の強化** (1)品質向上・安定生産 ・乾燥防止対策をとり品質向上に寄与している。 ・R6年度実施予定の減肥試験内容をPT会で共有できた。 (2)コスト低減に向けた研究 ・竹の堆肥化に向けた方策を検討し、研究が進み始めた。 ・品質向上・安定生産を検討するため、研究会の発足を準備している。 (3)担い手の確保・育成 ・就農計画書を作成し２名が就農した。 ・スムーズな就農を目指し新規就農者の事業活用支援を行った。 **2　生姜加工品の開発・販路拡大** ・生姜加工品メニューが新たに開発された。(R6:2件) **3　生姜を核としたいの町の振興** ・いの生姜焼き街道参加店舗が増加した。 (R5:18店→R6:20店) **(課題)** **1　安定生産の強化** (1)品質向上・安定生産 (2)コスト低減に向けた研究 ・コスト低減に向けた費用対効果の確認 (3)担い手の確保・育成 ・就農後の経営安定支援 **2　生姜加工品の開発・販路拡大** ・生姜を活用したメニュー・加工品の開発・販売 **3　生姜を核としたいの町の振興** ・生姜のまち「いの」定着に向けたPR強化 **(今後の方向性)** **1　安定生産の強化** (1)品質向上・安定生産 ・栽培中の土壌分析結果や収量・貯蔵性をとりまとめ、R7年度12月頃に成果を共有する。 (2)コスト低減に向けた研究 ・安価な土寄せ資材をR7年度生姜で使用し、栽培上の問題を確認する。 ・チップ化にかかる所要時間及び材料費を明らかにする。 ・竹チップを活用した土壌改良については、今年度配合する資材を確定させ堆肥化し、Ｒ８年度生姜の元肥として活用し、生育状況を確認する。 (3)担い手の確保・育成 ・新規就農者の経営安定に向けた個別指導 ・研修生1名のスムーズな就農支援 **2　生姜加工品の開発・販路拡大** ・規格外生姜を活用した加工品の試作推進と商品の販路開拓 **3　生姜を核としたいの町の振興** ・イベントやメディア等でのPR活動を実施
			生姜加工品・メニュー開発件数	3件 (R4)	4件	16件 (R6～9累計)	**2　生姜加工品の開発・販路拡大** ・メニュー開発店舗の開拓、試作品作成に向けた支援 ・産振アドバイザー制度等の活用提案、セミナー紹介、各種支援制度に関する情報提供 **3　生姜を核としたいの町の振興** ・いの生姜焼き街道のPRと参加店の開拓、イベントの開催 ・広報支援等	**2　生姜加工品の開発・販路拡大** ・伊野商業高校に加工品開発を提案し生姜農家との連携を支援 ・事業者等への試作品作成提案:2件 ・生姜加工品メニュー開発:2件 ・まきのさんの道の駅・佐川への販路開拓提案:1件 **3　生姜を核としたいの町の振興** ・いの生姜焼き街道での生姜メニュー提供店舗数:20店 ・テレビでの情報発信:1回 ・さぬきマルシェ(10/20)での生姜出店:1店	2件 (R6.4月～9月) ・R6到達目標達成率：50.0% ・対前年同期比：－	**D**	

(2)目標の達成に向けた進捗状況等

※達成度の基準について

進捗状況の基準	
S	数値目標の達成率　110%以上
A	数値目標の達成率　100%以上110%未満
B	数値目標の達成率　　85%以上100%未満
C	数値目標の達成率　　70%以上　85%未満
D	数値目標の達成率　　70%未満
－	達成度の判断が困難なもの

【P(Plan)】								【D(Do)】	【C(Check)】・【A(Action)】		
									現時点の進捗状況		
分野	No.	項目名・実施主体	指標	出発点	R6 到達目標	R9 目標	R6計画	R6取り組み状況	R6到達目標 に対する現状	達成度 (※)	現状分析
農業	4	**本川手箱きじの販路拡大** (いの町) 【実施主体】 ・◎本川手箱きじ生産企業組合 ・いの町 いの町本川地区の特産品である「本川手箱きじ」の販路の拡大と顧客ニーズに対応した商品の開発に取り組み、中山間地域の基幹産業として定着させる。	売上高	1,501万円 (R4)	3,293万円	3,300万円	**1　営業力の強化による販路拡大** ・関係機関との連携による取り組みの推進 ・生産・販売等について協議する定例会の開催による情報共有と状況に応じた取り組み内容の検討 ・首都圏で開催される展示会出展等による新規取引先の開拓 ・県商談会への参加 ・既存取引先へのアフターフォロー ・営業ツールの改善・活用 ・各種イベントでのPR ・地域おこし協力隊の活用等の検討 **2　衛生管理の徹底と安定した生産体制の確保** ・衛生管理マニュアルに沿った運用 ・県の指導に基づく生産技術向上のための取り組みの実施 ・生産性向上、衛生管理の技術的指導	**1　営業力の強化による販路拡大** ・定例会の実施：3回 ・イベント出展：6回 →UFOラインアタック(4月)、仁淀川紙のこいのぼり(5月) さかわマルシェ(6月)、吉野川源流本川まつり(8月) とんぼのめがねファミリー音楽祭(9月)、仁淀川こども祭(9月) ・個別商談の実施:11件(8月末時点) ・きじの雛孵化プレスリリース　高知新聞に掲載(5月) ・きじすき焼きセットプレスリリース　高知新聞に掲載(5月) ・県庁職員向け特別販売(きじすき焼きセット卵付き)を実施(6月) ・きじの食品成分分析試験を実施(7月) ・首都圏の商談展示会(R7年2月)へ出展決定(9月) 展示会準備セミナーを受講(8月) **2　衛生管理の徹底と安定した生産体制の確保** ・衛生管理マニュアルに準じた衛生管理(通年)	578万円 (R6.4月～9月) ・R6到達目標達率：35.1% ・対前年同期比：117.7%	**D**	**(成果)** ・衛生管理の徹底や親鳥用の卵選定等による生産効率の向上（対前年：ヒナ発生数8.4%増加、異常ヒナ発生数69%減少） ・知名度向上や商談に取り組み、新たに卸売業者と取引開始するなど売上が増加(前年同期比117.7%) **(課題)** ・食材としてのきじの認知度向上 ・個人向け販売の強化 ・既存取引先との取引継続 ・首都圏のレストラン・ホテル等への販路拡大 **(今後の方向性)** ・イベント出展やプレスリリースによるPR ・既存取引先も含めた営業強化 ・首都圏の展示商談会への出展(R7.2予定) ・営業ツールの強化に関して産振アドバイザーを活用予定(10月～)
農業	5	**越知町における食用山椒の産地振興** (越知町) 【実施主体】 ・◎越知町山椒組合 県内一の食用山椒の生産量を誇る越知町において、生産者への栽培管理や病害虫防除の指導の重点化、収穫作業等の作業労力の安定的確保等により、農家所得の向上を図る。	食用山椒 販売額	6,237万円 (R2～4平均)	7,000万円	7,750万円 (R6～9平均)	**1　生産体制の強化** (栽培管理、病害虫防除の重点指導) ・栽培講習会等の開催、栽培技術資料の配付 ・園地、品種・樹齢や栽培管理状況の調査 ・重点指導農家への個別指導 ・汚泥肥料活用の実証 (出荷の利便性向上) ・出荷場までの運搬作業が負担となっている高齢の生産者が多い地区について、出荷調整施設の追加導入を検討 ・既存の出荷調整施設の老朽化への対応 (農作業労力の安定的な確保) ・収穫等作業の環境改善 ・収穫作業労力の確保支援 ・スマート農業等の省力化技術の情報提供 ・新たな担い手の確保 **2　販路拡大** ・より有利な販売が可能な取引業者の検討 ・加工品利用の拡大	**1　生産体制の強化** (栽培管理、病害虫防除の重点指導) ・栽培講習会の開催:23人(4/27）、20人(5/2) ・さび病防除資料の配布:24人(4/10、5/2、6/14、7/30) ・さび病防除に対応できる農薬登録拡大推進 ・圃場現状調査アンケート実施 4/27配布、5/12回収(対象23人、回答者18人:残り5人は聞き取り調査を実施中) ・個別巡回による状況確認と指導:13人(4月～9月) ・汚泥肥料実証ほ設置農家を選定:1人(5月) (出荷の利便性向上) ・1回あたりの乾燥能力が収穫作業のボトルネックとなっているため、乾燥拠点を増やし、1日あたりの乾燥量を増やすことを検討中 （地区の生産者がグループで設置・補助事業活用を希望） (農作業労力の安定的な確保) ・雇用作業者や雇用者の労働環境を改善する目的で県単および長短事業を活用して農作業環境改善(簡易トイレ等の設置)、農作業ヘルパーの雇用、簡易な基盤整備の実施の支援を実施（簡易トイレ2カ所） ・農福連携体験研修を実施:15人(5/14) →翌日に就労継続支援B型事業所に作業委託を実施し、収穫作業労力を確保 ・越知町農福連携支援会議を設立:18人(9/20) ・リモコン草刈り機導入に向けて県補助事業の活用を検討:2人(6月) ・リモコン草刈り機実演会:21人(8月) ・新規就農者:1名(R6.4) **2　販路拡大** ・現状の確認 青実：JA出荷の販売単価推移(単位:円/kg) (R3:3,067→R4:3,377→R5:3,849→R6:4,037) 乾燥実：販売先6社の平均販売単価推移(単位:円/kg) (R3:6,109→R4:8,270→R5:11,438) ※青　実：5月上旬の10日間程度の期間に収穫、青果出荷し佃煮用等に使用される。 ※乾燥実：6月下旬～7月末までに収穫・乾燥後に出荷し、香辛料として使用される。	3,388万円 (R6.4月～5月(収穫は5月のみ)) ・R6到達目標達成率：290.4% ・対前年同期比：90.6%	**S**	**(成果)** ・令和6年は裏年に当たるが病害虫防除や適正施肥を徹底し草勢を維持したことで、大幅な収量減を回避した（R2の裏年は前年比42%減、今年は裏年であるが前年比16%減と収量減の幅を小さくすることができた）。 ・防除、施肥等の啓発資料を各作業の前に配布することで、生産者からの問い合わせが増え(6件)、土壌分析に基づく施肥指導等に結びついている。 ・青実収穫・出荷調製作業の農福連携体験研修を実施(参加者15名)することで生産者と就労継続支援B型事業所をマッチングし、出荷調製作業を業務委託。収穫作業労力の確保につながった。 **(課題)** ・来年度に向けた草勢維持を図るための収穫後の病害防除や施肥の実施率が7割程度となっており、残りの3割の生産者への栽培管理の徹底が課題 ・裏年表年の収量増減の幅を小さくするため、令和7年の1～2月の剪定作業によって着果量の抑制(果実が実りすぎないようにして)により、翌年に向けての草勢の維持が課題 ・栽培管理や収穫・出荷調整作業の負担を軽減するためのスマート農業の導入や農福連携等の推進が課題 ・青実、乾燥実ともに需要が拡大しており、販売単価は上昇傾向であるが、出荷量拡大に向けて新植用ほ場や担い手となる新たな生産者の確保が課題 **(今後の方向性)** ・着実にサンショウの振興を進めるため計画を作成し、担い手の確保や改植、新植による生産拡大を図る。 ・さび病防除に対応できる農薬登録拡大を申請し、現在試験を行っており、登録後は新薬剤によって防除対策を充実させる。 ・中山間地域で有望なサンショウは8月までに収穫等の主要な作業が終了するため、9月以降が繁忙期となる品目を組み合わせた複合経営モデルを作成して、所得の拡大を推進する(10月) ・基本栽培管理の徹底：汚泥肥料実証ほの設置(10月) ○山椒栽培技術の今後の方向性 ・スマート農業導入支援：リモコン草刈り機実演会の開催(8月) ・出荷調整施設の設置:乾燥機の導入支援(8月～) ・農福連携支援会議の設置(8月) ・園地台帳の整備(11月) ・基盤整備事業の導入等により作業性の良いほ場を確保(8月～) ・新規就農者の募集推進(11月)

(2)目標の達成に向けた進捗状況等

※達成度の基準について

進捗状況の基準	
S	数値目標の達成率　110%以上
A	数値目標の達成率　100%以上110%未満
B	数値目標の達成率　　85%以上100%未満
C	数値目標の達成率　　70%以上　85%未満
D	数値目標の達成率　　70%未満
－	達成度の判断が困難なもの

【P(Plan)】								【D(Do)】	【C(Check)】・【A(Action)】		
									現時点の進捗状況		
分野	No.	項目名・実施主体	指標	出発点	R6 到達目標	R9 目標	R6計画	R6取り組み状況	R6到達目標 に対する現状	達成度 (※)	現状分析
林業	6	**仁淀川流域における特用林産物の生産拡大** (仁淀川流域全域) 【実施主体】 ・◎特用林産物生産団体 地域の特色を持った特用林産物(シキミ・サカキ、きのこ類)の生産量の増加や品質向上による販路拡大及び生産者の所得向上を図る。	シキミ・サカキ 生産量 会計年度： 1月～12月	18.1t (R4)	19.5t	21.0t	**1 栽培技術・品質の向上** 全品目 ○県(木材産業振興課、林業事務所、森林技術センター等) ・安定した生産及び品質の向上に向け栽培技術指導や病虫害防除指導を実施 シキミ・サカキ ○県(林業事務所)、町、JA、生産者 ・生産者巡回等により、遊休地や放棄地の把握、情報収集、移住者等の生産希望者等への情報提供・マッチング **2 増産に伴う生産体制及び衛生管理体制の強化** 菌床キクラゲ ○県(林業事務所) ・生産施設拡大に対する支援（施設導入に関する補助事業活用の支援） **3 流通体制の整備** 全品目 ○JA、生産者 ・SNS等を活用した情報発信 ○県(木材産業振興課、林業事務所、地域本部) ・流通に関する情報提供、セミナー、商談会等の紹介、関係者への橋渡し	**1 栽培技術・品質の向上** シキミ・サカキ ・個別訪問による技術指導実施：4回 原木マイタケ ・個別訪問による技術指導実施：1回 菌床キクラゲ ・個別訪問による技術指導実施：1回 **2 増産に伴う生産体制及び衛生管理体制の強化** 菌床キクラゲ ・施設導入のための補助事業について関係機関と協議 **3 流通体制の整備** シキミ・サカキ ・市場へ単価交渉するためJAと協議 原木マイタケ ・生産者と販売についての打ち合わせ ・販売のため関係者への声かけ 菌床キクラゲ ・FOOD STYLE JAPANの情報提供	1.6t (R6.4月～7月) ・R6到達目標達成率：24.6% ・対前年同期比：228.6% （R5はR4.12の雪害により収穫量が大幅に減となったため）	**D**	**(成果)** ・生産者への個別訪問や技術指導(病虫害指導等)により安定した良品質のシキミ・サカキの生産を継続できている。 **(課題)** ・後継者の確保 **(今後の方向性)** ・研修会を開き、新しい担い手を探していく。
			原木マイタケ 生産量	0.9t (R4)	1.1t	1.4t			－ (10月収穫予定のため) ・R6到達目標達成率：－% ・対前年同期比：－%	**－**	**(成果)** ・原木、種駒の補助を実施。 **(課題)** ・生産団体の構成メンバーの減少 **(今後の方向性)** ・生産性を上げるための巡回指導を継続していく。
			菌床キクラゲ 生産量 会計年度： ５月～4月	12.2t (R4)	35t	50t			9.0t (R6.4月～7月) ・R6到達目標達成率：77.1% ・対前年同期比：89.1%	**C**	**(成果)** ・技術指導により安定した良品質の菌床キクラゲの生産を継続できている。 **(課題)** ・検討していた生産施設導入のための融資制度が不採択となり、他の方法の検討が必要 **(今後の方向性)** ・生産施設導入のための補助事業の検討
林業	7	**佐川町における自伐型林業の推進と地域の活性化** (佐川町) 【実施主体】 ・◎佐川町 ・◎自伐型林業やものづくりに取り組む個人・団体 自伐型林業を推進することで、森林環境の保全及び関連事業を含めた雇用の創出や人材育成等を通じた地域の活性化を目指す。	林業関連新規就業者数	13人 (R2～4累計)	2人	20人 (R6～9累計)	**1　自伐型林業の確立** ・自伐型林業研修の実施 ・林地の集約化の推進、継続的・安定的な施業環境の整備 ・地域おこし協力隊の採用再開(R6～) ・新たな施業方法の検討とその研修の実施 ・各種支援制度に関する情報提供等 ・産振アドバイザー制度の活用提案、各種支援制度に関する情報提供等 **2　さかわ産木材を活用したものづくりの推進** ・地域おこし協力隊の採用 ・佐川町産材を活用した商品開発 ・簡易製材機の活用促進 ・低質材を活用した木工品の開発・販売、学校教育・地域等と連携したものづくりを通した人材育成 ・町内イベントや道の駅、おもちゃ美術館等を活用した木育ワークショップの実施 ・各種支援制度に関する情報提供、関係事業者への橋渡し	**1　自伐型林業の確立** ・R6年度年間8回の研修会を実施予定(直近実績：「選木・伐倒・造材等素材生産研修(7月31日～8月2日)) ・地域おこし協力隊(自伐型林業)の採用１名(7月末時点) ・自伐型林業の施業困難地の切り捨て間伐の実施 **2　さかわ産木材を活用したものづくりの推進** ・地域おこし協力隊(発明ラボ)の採用１名(7月末時点) ・発明ラボによる「放課後発明クラブ」の実施(7月～毎月実施) ・発明ラボによる「はじめてのAI体験ワークショップ」の実施(8月11日、18日、25日)	1人 (R6.4～R6.9) ・R6到達目標達成率：50% ・対前年同期比：－% (前年度は施業方法の検討のため新規採用を中止していたため実績なし)	**D**	**(成果)** ・地域おこし協力隊(自伐型林業)1名の雇用 ・年間の研修計画も立てられており、人材育成に取り組めている ・新たな施業方法(切り捨て間伐)の実施により自伐型林業の施業困難地への対応もできている ・協力隊(発明ラボ)1名の雇用 ・「放課後発明クラブ」の実施等イベントやワークショップの実施が継続されている **(課題)** ・地域おこし協力隊が募集定員に達しておらず、現在も随時募集中 **(今後の方向性)** ・地域おこし協力隊の随時募集を継続し、研修等を通じた人材育成を進めていく ・必要に応じて、地域おこし協力隊等への指導や研修に産振アドバイザー制度を活用していく
			山林の 集約化面積	369ha (R2～4累計)	100ha	400ha (R6～9累計)			71.53ha (R6.4～R6.8) ・R6到達目標達成率： 171.7% ・対前年同期比：192.3%	**S**	

(2)目標の達成に向けた進捗状況等

※達成度の基準について

進捗状況の基準	
S	数値目標の達成率　110%以上
A	数値目標の達成率　100%以上110%未満
B	数値目標の達成率　　85%以上100%未満
C	数値目標の達成率　　70%以上　85%未満
D	数値目標の達成率　　70%未満
－	達成度の判断が困難なもの

【P(Plan)】								【D(Do)】	【C(Check)】・【A(Action)】		
									現時点の進捗状況		
分野	No.	項目名・実施主体	指標	出発点	R6 到達目標	R9 目標	R6計画	R6取り組み状況	R6到達目標 に対する現状	達成度 (※)	現状分析
水産業	8	**宇佐の一本釣りうるめいわし等の鮮魚加工品の販路拡大と地域の活性化** (土佐市) 【実施主体】 ・◎企業組合宇佐もん工房 宇佐の一本釣りうるめいわしをはじめとする鮮魚等を原料にした加工品の安定供給体制の構築により、更なる需要拡大を図るとともに、地域での経済波及効果と雇用の創出を図る。	売上高	1億 2,495万円 （R4）	1億 4,000万円	1億 7,000万円	**1　生産体制の強化** (生産体制強化のための機器導入) ・加工ラインの製造効率及び品質を高め、生産能力を拡大するための機器導入(検討・実施) **2　販路拡大** ・新規の展示会、商談会への出店及び情報収集 ・既存の商談会への参加等の積極的な営業活動による取引拡大に向けた取り組み ・一本釣りうるめ祭り(飲食店イベント)の開催、その他販促イベントへの出展 **3　新商品開発** ・海鮮漬け丼の製造ノウハウを活かした新たな加工商品の開発 ・企業と連携したタイアップ商品等の開発 ・ふるさと納税返礼品の開発	**1　生産体制の強化** (生産体制強化のための機器導入) ・既存施設の収容能力等を踏まえ、機器の導入を検討中 **2　販路拡大** ・関西版高知県産品商談会へ参加(6月) ・今年度に宇佐で初開催される「ナニ！？鍋祭り」のスタンプラリー加盟店として、宇佐もんや(飲食店)が参画し、市内外に向けて、PRを実施 **3　新商品開発** ・サーモンの漬け丼を開発し、8月上旬より販売開始 ・鰹の端材を原料としたツナパウチを開発し、9月下旬販売開始	6,903万円 (R6.4月～8月) ・R6到達目標達成率：118.3% ・対前年同期比：107.9%	**S**	**(成果)** ・継続的な商談会の出展によるPRや、ふるさと納税返礼品による露出効果の高まりにより安定した売上が達成されている ・新商品開発により、商品ラインナップの充実化につながった **(課題)** ・継続的なうるめいわし不漁により、うるめいわし商品の販売が実施できていない **(今後の方向性)** ・多魚種を活用したふるさと納税返礼品等、通信販売のさらなる強化に向けた取り組みの実施
水産業	9	**土佐市における養殖魚加工体制の構築による加工品の販売拡大と地域の振興** (土佐市) 【実施主体】 ・◎(株)土佐マリンベース ・和光商事(株) (株)土佐マリンベースが養殖魚(ブリ、マダイ、カンパチ)の産地加工体制を構築するとともに、マーケットニーズに合わせた商品開発や国内外への販路開拓等に取り組むことで、養殖業等の振興、地元雇用の創出及び地元産品の利用拡大につなげる。	売上高 会計年度: 3月～2月	0.9億円 （R4）	2.5億円	5.9億円	**1　産地加工体制の強化** (加工体制の強化) ・加工人材の確保と、県内水産加工事業者と連携した加工人材の技術研修の実施 (生産体制及び衛生管理体制の強化) ・国際認証(MEL等)や輸出に必要となる施設登録の取得 **2　商品の開発** ・県内事業者や量販店等と連携した商品の開発 ・ふるさと納税商品の開発 ・高知県食品海外ビジネスサポーターや水産物輸出促進コーディネーター等の情報をもとに、マーケットニーズに対応した商品の開発 **3　国内外への販路拡大** ・展示商談会への出展による新たな販路の開拓 ・高知県食品海外ビジネスサポーターや水産物輸出促進コーディネーターと連携した販路の開拓 ・養殖魚の販売を行う関連企業や県内水産加工事業者と連携した販路の開拓	**1　産地加工体制の強化** (加工体制の強化) ・加工人材の募集 ・県内水産加工事業者と連携した加工人材の技術習得 (生産体制及び衛生管理体制の強化) ・米国のマーケットニーズに対応した加工処理方法の検討 **2　商品の開発** ・養殖魚の炙り商品の開発 ・輸出先ニーズに対応した加工商品の品質改善 ・米国向け輸出商品の検討 **3　国内外への販路拡大** ・第26回ジャパン・インターナショナル・シーフードショーに出展し、養殖魚の加工を商談(8/21～23)、以後はバイヤーの要望に対応中 ・米国(ニューヨーク)での展示商談会に出展(9/22) ・高知県食品海外ビジネスサポーターや水産物輸出促進コーディネータと連携したマーケットニーズの収集 ・関連企業や県内水産加工事業者からの受託加工の実施	0.17億円 (R6. 3月～7月) ・R6到達目標達成率：16.3% ・対前年同期比：63.6%	**D**	**(成果)** ・県内水産加工事業者等と連携した受託加工が進展 ・新たな高付加価値商品(炙り商品)を開発 **(課題)** ・目標の売上高を大きく下回っており、販売先の開拓が急務 **(今後の方向性)** ・関連企業にも水産加工品の販売担当者を配置し、連携した営業を開始 ・県内加工事業者と連携したさらなる販売拡大

(2)目標の達成に向けた進捗状況等

※達成度の基準について

進捗状況の基準	
S	数値目標の達成率　110%以上
A	数値目標の達成率　100%以上110%未満
B	数値目標の達成率　　85%以上100%未満
C	数値目標の達成率　　70%以上　85%未満
D	数値目標の達成率　　70%未満
－	達成度の判断が困難なもの

【P(Plan)】								【D(Do)】	【C(Check)】・【A(Action)】		
									現時点の進捗状況		
分野	No.	項目名・実施主体	指標	出発点	R6 到達目標	R9 目標	R6計画	R6取り組み状況	R6到達目標 に対する現状	達成度 (※)	現状分析
商工業	10	**「土佐和紙」の販売促進** (土佐市、いの町、仁淀川町、日高村) 【実施主体】 ・◎手すき和紙協同組合 ・◎高知県製紙工業会 ・いの町紙の博物館 地域の伝統産業である「土佐和紙」は、楮栽培農家、用具職人、手すき和紙職人のいずれもが高齢化のため生産が減少し、土佐和紙の売上も低迷していることから、手すき和紙及び機械すき和紙を含め、原料や担い手の確保を図るとともに、県内外での消費の拡大につなげる取り組みを行う。	土佐和紙売上高	4.76億円 (R4)	5.35億円	6．1億円	**1　原料づくり** (1)楮使用量(=供給量) ①和紙生産者への調査・提案 ・【4～9月】土佐楮の使用量、在庫量等を聞き取り、使用実態の把握と分析 ・【通年】土佐楮使用に繋がる情報交換、取り組みの提案 ②楮生産者への調査・提案 ・【4～12月】県内産楮の生産量、栽培状況等の聞き取りを行い、まとめと分析 (2)原料生産の持続化 ①生産効率化のための支援 ・【通年】楮生産工程の効率化(機械化)に繋がる情報収集を行い、関係者に共有 ・【通年】導入支援策を協議し、検討 ②作業者確保のための支援 ・【通年】農福連携等、楮生産の作業者確保に繋がる情報収集を行い、関係者に共有 **2　担い手づくり** (1)長期研修修了生 ①研修生の受け入れ環境づくり ・【通年】「短期研修」複数人指導体制での短期研修を実施(2件) ・【通年】「長期研修」和紙生産者等も交え、研修プログラムを協議 ②研修生の掘り起こし ・【通年】土佐和紙振興事業で、将来の研修候補生獲得を目指し進捗を定期的に共有・協議 ・【通年】地域おこし協力隊インターンシップ(いの町)にて土佐和紙に触れる機会を確保 ③用具確保対策 ・【通年】県内の引退した職人が使用していた用具を収集。研修用用具として利活用を調整 (2)県指定文化財である和紙の新たな技術保持事業者数 ①土佐和紙保存会の活動支援 ・【通年】重要無形文化財候補紙の技術定義検討、共有 ・【通年】研修カリキュラムの作成、共有 ・【通年】技術保持者育成研修用の用具確保 **3　付加価値づくり** (1)新商品開発 ①新商品開発の支援 ・【通年】土佐和紙振興事業にて、全国から新たな和紙づくりにつながるアイデアを募集 集まったアイデアは和紙生産者等へ共有 ②技術面での支援 ・【通年】センターの設備やノウハウを活用して商品開発を支援、情報共有 (2)見本市や商談会等への参加 ①国内展開への支援 ・【4～9月】国内見本市等の出展支援 ・【4～6月】和紙生産者への日曜市出店を積極的に声がけ ②海外展開への支援 ・【4～9月】海外展示会等の出展支援 (3)土佐和紙のPR実施件数 ①情報発信の強化 ・【通年】WEB、SNS等での発信 ②イベントの開催・参加 ・【通年】各種開催されるイベントについて、情報共有・協議	**1 原料づくり** (1)① ・生産量調査で和紙生産者へ土佐楮の使用量、在庫量等の聞き取りを実施(4～6月) →和紙生産者の自家栽培の動きについて、余剰分を原料等へ供給する等楮農家の役割も担っており、また個々の事業者の取り組みに留まり、負担が大きいことが分かった。 (活用できそうな補助制度の掘り起こしが必要) (1)② ・土佐楮の生産量調査開始(7～8月) →取りまとめ予定(9～10月) (2)①、② ・上東を愛する会にヒアリングを実施 →文化庁補助金を活用した機械導入を提案したが、機械導入に至らず 文化庁補助金を他楮生産者への周知等を行う **2　担い手づくり** (1)① ・短期研修(複数人指導体制)の実施:2件 ・長期研修の研修候補生の獲得 R7の長期研修実現に向けて、研修体制の構築を行う (1)② ・産地留学の実施に向けて事業開始(土佐和紙振興事業) →産地留学に向けて体験プログラム等について調整中 12/14～15、2/13～14　の２回実施予定 基本方針Ⅲ 土佐和紙デザイン&アイデアコンテストと連動 ・地域おこし協力隊対策インターンシップ［いの町］ →8～12月実施予定(準備中) (1)③ ・生産量調査等で、和紙生産者等へ聞き取り →活用できそうな道具について、一部有益な情報あり 竹ひご職人の自宅に使用していない簀桁数セットあり (2)① ・重要無形文化財候補紙の技術定義検討、共有 ・研修カリキュラムの作成、共有 ・技術保持者の育成研修用の用具の確保 **3　付加価値づくり** (1)① ・土佐和紙デザイン&アイデアコンテスト(土佐和紙振興事業) 応募開始(7/11～11/5) (1)② ・商品開発支援:延べ10件 →うち商品化:4件 (2) ① ・国内見本市への出展支援［産業振興C］ →3社出展(機械すき) ・生産量調査で日曜市出店へ声がけ →3者出展(手すき：2者、機械すき：1者) (2)② ・クレアパリ「伝統と先端と」の出展支援[工業振興課] →１社出展(機械すき)(11/5～23予定) ・イタリア修復紙テスト[工業振興課、紙産業技術C] (3)① ・関西アンテナショップ「とさとさ」で土佐和紙を展示(7/31～) →1ヶ月オープン記念イベントの体験コーナーで、土佐和紙キャラバン開催(9/7､8) ・いの町紙の博物館のECサイトの魅力向上及び販売促進 (産振アドバイザー制度を活用) (3)② ・イベントの開催・参加支援 →紙とあそぼう作品展(7/23～8/18)	－ ※販売額調査は年１回 (4～6月実施)	**－**	**(成果)** ・第２期土佐和紙総合戦略(R5～R9)を中心に、原料づくり、担い手づくり、付加価値づくりのそれぞれの面で関係団体等と連携、取り組みを実施している。 **(課題)** ・原料づくり、担い手づくり、付加価値づくりそれぞれにおいて、有効な打開策が見いだせていない(全国の各産地も苦戦) ・また、これらの課題は相互に関連(例えば、和紙の販売が不振→原材料の楮(こうぞ)も必要量が減少、将来職人として生活していけるか見通しが立たないため、新規研修生を受け入れられない等)している。 **(今後の方向性)** ・引き続き第２期土佐和紙総合戦略等の実践 (原料づくり) ・文化庁補助金の活用拡大 －和紙生産者(自家栽培)等へ補助金を紹介 －文化庁へのヒアリング対応 (担い手づくり (研修含む)) ・産地留学の実施による後継者候補の獲得 ・長期研修実現に向けた体制構築 －講師体制　：講師体制、研修カリキュラム案等、研修実施に向けた支援を検討・実施 －研修場所　：施設利用等の整理 －研修用道具：遊休中の用具購入を検討 (付加価値づくり) ・土佐和紙(土佐楮)の基礎需要の創出について －「紙」の利用状況に全庁調査 ・土佐和紙アイデアコンテストの実施 －土佐和紙の新たな使い方等、アイデアを募集

(2)目標の達成に向けた進捗状況等

※達成度の基準について

進捗状況の基準	
S	数値目標の達成率　110%以上
A	数値目標の達成率　100%以上110%未満
B	数値目標の達成率　　85%以上100%未満
C	数値目標の達成率　　70%以上　85%未満
D	数値目標の達成率　　70%未満
－	達成度の判断が困難なもの

【P(Plan)】								【D(Do)】	【C(Check)】・【A(Action)】		
									現時点の進捗状況		
分野	No.	項目名・実施主体	指標	出発点	R6 到達目標	R9 目標	R6計画	R6取り組み状況	R6到達目標 に対する現状	達成度 (※)	現状分析
商工業	11	**土佐市における木毛(もくめん)を核とした製品の販路拡大とブランド化** (土佐市) 【実施主体】 ・◎(有)戸田商行 「木毛」を核とした持続可能な製品づくりと国内・海外への販路拡大や、エッセンシャルオイル製造販売などの新たな事業の成長により、企業価値の向上と、地域経済への波及を目指す。	売上高 会計年度: 9月～8月	8,100万円 (R5)	7,862万円	9,134万円	**1　木毛等の販路拡大** (木毛製品の販路拡大・販売促進) ・新製品の開発 ・国内・海外の展示商談会への出展 ・原材料確保に向けた取引先との関係構築 ・木毛製造機械の更新等の検討 **2　生産体制の構築** (エッセンシャルオイル製品の販路開拓・拡大) ・新商品の開発 ・海外取引先等の品質基準を満たした製品づくり ・国内・海外の展示商談会への出展 ・請負生産の受注や、安定生産に向けた設備の有効活用 **3　情報発信** (企業価値の向上に向けた取組の推進) ・経営方針発表会の開催 ・SNSやメディア等での情報発信の強化 ・学校・企業等の工場見学や木育ワークショップ開催 ・インターンシップ受入による大学・高校との連携 ・交流人口拡大に向けた飲食・物販コーナーの設置検討 ・大学や団体への出講	**1　木毛等の販路拡大** (木毛製品の販路拡大・販売促進) ・インテリアライフスタイル2024に出展(6月) ・高知家のミニ展示商談会に出展(7月) **2　生産体制の構築** (エッセンシャルオイル製品の販路開拓・拡大) ・インテリアライフスタイル2024に出展(6月)※再掲 ・高知家のミニ展示商談会に出展(7月)※再掲 ・文旦エッセンシャルオイルの製造過程において、使用しない果実を有効活用し、文旦のアイスとジュースを新たに商品開発(7月) **3　情報発信** (企業価値の向上に向けた取組の推進) ・会社HPやSNSでイベント出展情報や会社ブログを定期発信 ・高知トヨペット、土佐市の協同で実施する「協働の森事業」に参画(4月) ・ディスカバー農山漁村の宝アワード(農水省)に応募(8月) ・工場見学の受入数：2件13人(4～6月) ・国外のインターンシップ生1名の受入実施(7月) ・飲食コーナー設置に向け、文旦アイス・ジュースを使ったメニューの開発(8月)	4,083万円 (R6.4月～8月) ・R6到達目標達成率：124.6% ・対前年同期比：－ ※Ｒ6新規プラン	**S**	**(成果)** ・県外商談会への出展やSNS等での情報発信を継続して実施し、着実に企業の知名度を伸ばしている ・昨年度からスタートした文旦のエッセンシャルオイル事業の展開も順調であり、国内外に販売が展開されている ・地域特産品の文旦を活用した軽食メニューの開発を行い、カフェの併設に向けた取り組みが進んだ **(課題)** ・文旦果汁の取引先の確保(高単価で売りにくく在庫増の状況) ・文旦果汁は外注保管しているが、今後カフェ併設等を見据えると、自社で保管できる設備の検討も必要 **(今後の方向性)** ・文旦果汁は、保管設備の検討もしながら、高級志向ユーザーをターゲットとする飲食店向けに営業を行い、販売促進を実施していく
商工業	12	**「ドラゴン広場」を核にした高岡商店街の活性化** (土佐市) 【実施主体】 ・◎土佐市 ・土佐市商工会等 農産物等の直販所などを備えた拠点施設「ドラゴン広場」を核として、「にぎわいのまち」をつくることによって来街者の増加を図り、地域商業の振興につなげる。	高岡商店街での事業所の新規開業	4事業所 (R2～4累計)	2事業所	8事業所 (R6～R9)	**1　運営体制の強化** (土佐市商店街等振興計画の実行・検証) ・計画を主体的に実行する事業者の掘り起こし及びフォローアップ ・ワーキング等の開催による計画の芽出し・調整、後方支援 (ドラゴン広場の安定した運営・魅力向上) ・施設運営に関する支援、広報でのイベント情報発信 ・調理室やイベントスペース等の施設機能の周知による、交流人口拡大に向けた取り組みの検討 ・定期的なテナント会(月1回)の開催による施設の魅力向上、品揃えの充実に向けた取り組み ・テナントが一体となった集客策の検討 ・ドラゴン広場魅力向上のための仕組みづくりの検討 2　**高岡商店街の魅力の向上** (高岡商店街への開業の誘致) ・空き店舗調査の実施、空き家バンク登録による情報の発信 ・空き店舗活用への家賃補助事業等の実施検討、店舗改修補助金、創業補助制度等に関する情報発信及びワンストップ窓口対応	**1　運営体制の強化** (土佐市商店街等振興計画の実行・検証) ・地元企業を中心とした実行委員会にて、高岡商店街で実施するイベント内容について協議(7月) 　→10月のハロウィンイベント及び電子スタンプラリーの実施が決定 (ドラゴン広場の安定した運営・魅力向上) ・月一で実施する子供向けハンドメイドのワークショップ等のイベント「ドラゴンフェスタ」の開催や、キッチンカー、その他イベント(音楽祭、演劇、マルシェ)の受入等を積極的に行い、集客の増加につながっている 　→7月末累計の施設来場者数35,990人(前年比167.7%) ・SNSを開設し、テナントやイベント情報を随時発信することで認知度を高めている 　→インスタグラム登録者数1,168人(7月末) ・県外シェフと飲食テナントが一体となったビアホールを2日間開催(7月) 　→133名が参加(2日間合計) 2　**高岡商店街の魅力の向上** (高岡商店街への開業の誘致) ・目視による空き店舗調査を実施し、マップリストを作成(6月)	0事業所 (R6.4月～9月) ・R6到達目標達成率：0% ・対前年同期比：－ ※Ｒ6より指標変更	**D**	**(成果)** ・土佐市商店街振興計画に基づき、イベント実施に向けた調整が進んだ ・ドラゴン広場の施設を最大限に活用したイベントの実施・受入れの他、情報発信の強化に取り組むことで、前年を上回る集客が図られており、交流人口の拡大につながっている **(課題)** ・ドラゴン広場の施設安定運営に向けた新たな収入源の確保 ・空き店舗活用に向けた具体的な取り組みの実行 **(今後の方向性)** ・ドラゴン広場テナント合同でのふるさと納税返礼品開発による新たな収入源の確保検討 ・空き店舗持ち主への意向調査の実施

(2)目標の達成に向けた進捗状況等

※達成度の基準について

進捗状況の基準	
S	数値目標の達成率　110%以上
A	数値目標の達成率　100%以上110%未満
B	数値目標の達成率　85%以上100%未満
C	数値目標の達成率　70%以上　85%未満
D	数値目標の達成率　70%未満
－	達成度の判断が困難なもの

【P(Plan)】								【D(Do)】	【C(Check)】・【A(Action)】		
									現時点の進捗状況		
分野	No.	項目名・実施主体	指標	出発点	R6 到達目標	R9 目標	R6計画	R6取り組み状況	R6到達目標 に対する現状	達成度 (※)	現状分析
商工業	13	**いの町中心市街地の活性化** (いの町) 【実施主体】 ・◎いの町 ・◎いの町商工会 いの町中心市街地の空き地・空き店舗等を有効活用して、街の活力を高めるとともに、「いこいのまち」をキーワードとして誰もが訪れたくなるまちづくりを目指し、商店街の各店舗の魅力を高め、新たな開業を促進する。	中心市街地での事業所新規開業	12事業所 (R2～4累計)	2事業所	8事業所 (R6～9累計)	**1　中心市街地活性化計画実行に向けた取り組み** ・計画を主体的に実行する民間事業者の掘り起こし及びフォローアップ ・ワーキングの開催による計画の芽出し・調整、後方支援 **2　中心市街地の魅力向上に向けた取り組み** ・Kami祭等のイベントによる町の魅力発信 ・イベント来場をきっかけにいの町のファンとなってもらうための仕掛け作り ・町内飲食店の集客増加に向けた取り組み ・空き店舗活用への家賃補助事業実施、創業補助制度等に関する情報発信及びワンストップ窓口対応	**1　中心市街地活性化計画実行に向けた取り組み** ・おらんくのサマーセミナー実行委員会開催(2回) ・商店街飾り付け(紙のこいのぼりタペストリー、七夕) **2　中心市街地の魅力向上に向けた取り組み** ・イベントの開催 境内deパン屋さん(4/21) いの町商店街よさこい演舞(8/4) おらんくのサマーセミナー(8/24) いの生姜やき街道スタンプラリー実施(8/1～11/30) ・中心市街地で2事業所が新規開業	2事業所 (R6.4月～9月) ・R6到達目標達成率：100.0% ・対前年同期比：200.0%	**A**	**(成果)** ・中心市街地で2事業所が新規開業 ・新規イベントの開催(境内deパン屋さん) ・生姜やき街道参加店舗の増加(R5:18店舗→R6:20店舗) **(課題)** ・第2期いの町中心市街地活性化計画の確実な実行 ・空き店舗の活用 **(今後の方向性)** ・中心市街地活性化計画を持続可能なものにしていくためのキーマン及びプレイヤーの発掘・育成及び各関係機関の連携 ・活用可能な空き店舗の発掘及び情報発信
商工業	14	**地域産品を活用した冷菓等の販路拡大** (いの町) 【実施主体】 ・◎(有)高知アイス 地域特産品であるゆず、トマト、いちご、文旦等を活用したアイスクリーム、シャーベット、ドリンク等の生産性の向上と販売拡大を図るとともに、生産者の所得向上を目指す。	売上高 会計年度: 1月～12月	6.03億円 (R4)	6.6億円	8.2億円	**1　販路拡大と販売促進** (アイスの生産体制の強化) ・生産能力増加 ・生産性の向上 ・認証(FSSC又はISO)の取得 **2　観光客や工場見学者などへの販売強化** (搾汁工場を活用した新商品の開発) ・果汁のアイス原料以外での販売 ・果皮を活用した製品など新商品の開発・販売 **3　新商品の開発** (国内・海外への販路拡大) ・ヨーロッパ・北米・ベトナム等の新たな市場への販路開拓 ・企業とのタイアップ、PB商品の製造強化 ・関西アンテナショップをきっかけとした、関西圏での販売の強化 ・売店・カフェでの新商品・メニューの開発販売 ・TV等のメディアによる宣伝広告の実施 ・スタッフ人材育成による店舗の魅力向上	**1　販路拡大と販売促進** (アイスの生産体制の強化) ・商談会参加：11回 (うち海外向け6回(タイ、ハワイ、台北、香港)) **2　観光客や工場見学者などへの販売強化** (搾汁工場を活用した新商品の開発) ・工場見学受入れ：5件(放課後等デイサービス ヒラソル26名、放課後等デイサービス ティーバージム20名、いの町教育研究所39名、ウィズ竹島18名、パステル16名) ・外国客船観光客受入れ(売店のみ):4件(計148名) **3　新商品の開発** (国内・海外への販路拡大) ・PB商品の製造：2件(ブラックレモンティーシャーベット、文旦アイス) ・商談会参加：11回 (うち海外向け6回(タイ、ハワイ、台北、香港))※再掲	4.39億円 (R6.1月～8月) ・R6到達目標達成率：99.8% ・対前年同期比：100.7%	**B**	**(成果)** ・商談会への積極的な参加により取引先が増加している。 (高知県アンテナショップ「とさとさ」での新規販売など) ・高知アイス売店への外国客船観光客の受入れにより、観光客への販売を強化できている。 **(課題)** ・ゆずの栽培管理 ・搾汁施設の安定操業 ・販売増に向けた生産能力の向上 **(今後の方向性)** ・人員の確保 ・原材料の安定確保 ・工場の増設や改修等に向けた検討

(2)目標の達成に向けた進捗状況等

※達成度の基準について

進捗状況の基準	
S	数値目標の達成率　110%以上
A	数値目標の達成率　100%以上110%未満
B	数値目標の達成率　　85%以上100%未満
C	数値目標の達成率　　70%以上　85%未満
D	数値目標の達成率　　70%未満
－	達成度の判断が困難なもの

【P(Plan)】								【D(Do)】	【C(Check)】・【A(Action)】		
									現時点の進捗状況		
分野	No.	項目名・実施主体	指標	出発点	R6 到達目標	R9 目標	R6計画	R6取り組み状況	R6到達目標 に対する現状	達成度 (※)	現状分析
商工業	15	**仁淀川町におけるクラフトビールを軸にした交流人口の拡大と地域の活性化** (仁淀川町) 【実施主体】 ・◎MUKAI CRAFT BREWING(株) ・仁淀川町 MUKAI CRAFT BREWING(株)が清流仁淀川の水と副原料として地元食材を活用したクラフトビールを製造するとともに、県内外への販路拡大を図りながら、仁淀ブルーのイメージを活かした地域ブランドを確立し、交流人口の拡大や地域の活性化に繋げる。	クラフトビール販売額 会計年度：３月～２月	1,850万円 (R4)	1,870万円	1,930万円	**1　製造及び販売体制の強化** (人員体制の強化) ・受入体制の強化、新たな人材の確保、連携 ・人材確保に向けた関係機関の情報提供 （移住施策、地域おこし協力隊など） (製造技術の向上) ・県工業技術センターの分析による成分の数値化 (品質管理と衛生管理の確立) ・HACCPの考え方を取り入れた衛生管理の実施 (販売促進に向けた取り組み) ・イベント出店による情報発信、町内事業者と連携したイベント開催 ・県内イベント等に関する情報提供 **2　ブランド化戦略の実践及び販売促進** (販路拡大に向けた取り組み) ・商談会等への出展による販路拡大、テストマーケティング等による販促活動 ・商談会等の紹介、高知県地産外商公社・関係機関との連携支援 (副原料となる新素材の発掘と新商品開発) ・地域資源の掘り起こし、試作品づくり・商品化の実現 ・新商品の味覚・官能検査による品質評価等、県工業技術センターの活用提案 (情報発信・プロモーション) ・SNSやメディア等を通じたPR	**1　製造及び販売体制の強化** (人員体制の強化) ・正規職員(長期)1名の雇用(R5.6月～R6.8月) (製造技術の向上) ・県工業技術センターの分析結果確認(4月～) (品質管理と衛生管理の確立) ・HACCPの考え方を取り入れた衛生管理の実施 (販売促進に向けた取り組み) ・高知市や近隣市町村等へのイベント出店(4月～) ・しまんとターキーとのコラボイベント実施(5月) ・職員の雇用により生産体制に余裕ができ、オンラインショップ用の在庫数を増加させることができた(8月) **2　ブランド化戦略の実践及び販売促進** (販路拡大に向けた取り組み) ・「高知クラフトビール協議会」を通じた連携(4月～) ・アグリコレット販売に向けた検討(7月～) (副原料となる新素材の発掘と新商品開発) ・新商品開発に向けた検討(4月～) (情報発信・プロモーション) ・SNSを活用した情報発信(4月～)	676万円 (R6.3月～7月) ・R6到達目標達成率：86.8% ・対前年同期比：107.3%	**B**	**(成果)** ・職員の雇用により人員体制の強化が図られた。 ・イベント出店、コラボイベントの実施により、新規顧客の獲得につながっている。 **(課題)** ・円滑な稼働と安定生産に向けた人員・生産体制の構築 ・安全性と品質の確保 ・ブランド化に向けたプロモーション活動や新商品開発 ・販路拡大に向けた取組 **(今後の方向性)** ・人材確保に向けた関係機関による情報提供 ・HACCPの考え方を取り入れた衛生管理の実施 ・成分の数値化（県工業技術センターの分析）による製造技術の向上 ・SNSやイベント出店によるPRや商談会を通じた販路拡大
商工業	16	**仁淀川町における(株)フードプランを核とした野菜の産地形成と販売拡大** (仁淀川町) 【実施主体】 ・◎(株)フードプラン ・仁淀川町 ・(合)清流ファーム ・生産者団体 ・庭先集荷の農家 カット野菜事業を展開する(株)フードプランを仁淀川町での基幹産業として位置付け、事業の継続的な実施と販売拡大によって雇用の確保や農業者の所得向上につなげる。	(株)フードプランの販売額 会計年度：10月～9月	8.8億円 (R4)	9.1億円	10億円	**1　生産能力の拡大** ・製造部門における現場管理の強化や設備の導入による生産性の向上 ・需要に対応するための工場稼働時間の検討、人員体制の強化 ・人材確保に向けた情報提供 （移住施策、地域おこし協力隊等） ・ものづくり補助金などの活用可能性検討、各種支援制度の情報提供 **2　販路拡大・商品開発** ・商談会等への出展や営業活動の展開 ・物流手段の確保、消費期限延長の検討 ・商談会等の情報提供、高知県地産外商公社・関係機関との連携支援 ・ドレッシングの新商品開発・販売、カット野菜を活用した観光振興 ・カット野菜を活用した観光客誘致の仕組みづくり、メディアを通じた情報発信 ・産振アドバイザー制度の活用提案、各種支援制度の情報提供 **3　原料供給体制の強化** ・町内生産者の拡大、加工用ネギ栽培の連携、新たな品目の検討 ・各種支援制度の情報提供 ・水耕栽培施設の円滑な運営 ・農業改良普及所による栽培指導	**1　生産能力の拡大** ・外国人実習生等の受け入れの継続(4月～) 技能実習生16名、特定技能人材８名(R6.9末現在) **2　販路拡大・商品開発** ・新規取引先の獲得に向けた営業活動(4月～) ・エースワンとの取り引き品目の増加(8月～) ・端材を活用したドレッシングの取り引き開始(4月～) ・地元飲食店と連携したキャンプ場でのBBQセット展開に向けた検討(4月～) **3　原料供給体制の強化** ・工場隣地でのベビーリーフ、リーフレタスの水耕栽培施設との連携(4月～) ・工場隣地で栽培されたベビーリーフ、リーフレタスの全量買い取り(4月～)	7.7億円 (R5.10月～R6.8月) ・R6到達目標達成率：92.3% ・対前年同期比：101.3%	**B**	**(成果)** ・外国人実習生等の受入れの継続により、人員体制の強化につながっている。 ・農福連携による水耕栽培施設との連携により、原料供給体制の強化が図られている。 **(課題)** ・生産性の向上のための安定した雇用の確保 ・近畿、関東圏への販路拡大に向けた輸送ルートの確保や消費期限の延長 ・産地形成による県内産野菜の安定調達に向けた仕組みづくりの構築 ・端野菜を活用した高付加価値商品の開発・販売 ・カット野菜を活用したクラスタープロジェクトの推進 ・端材野菜の活用 **(今後の方向性)** ・ベトナム人技能実習生、特定技能人材の受け入れ ・消費期限の延長策とそれに伴う販路拡大の検討 ・農福連携事業による水耕栽培施設との連携など原料供給体制の強化 ・高付加価値商品の開発・販売 ・端野菜を活用したドレッシングの販路拡大 ・カット野菜を活用した観光振興策の検討

(2)目標の達成に向けた進捗状況等

※達成度の基準について

進捗状況の基準	
S	数値目標の達成率　110%以上
A	数値目標の達成率　100%以上110%未満
B	数値目標の達成率　　85%以上100%未満
C	数値目標の達成率　　70%以上　85%未満
D	数値目標の達成率　　70%未満
－	達成度の判断が困難なもの

【P(Plan)】								【D(Do)】	【C(Check)】・【A(Action)】		
									現時点の進捗状況		
分野	No.	項目名・実施主体	指標	出発点	R6 到達目標	R9 目標	R6計画	R6取り組み状況	R6到達目標 に対する現状	達成度 (※)	現状分析
商工業	17	**仁淀川町の基幹産業である茶の６次産業化の推進** (仁淀川町) 【実施主体】 ・◎(株)ビバ沢渡 ・◎(株)池川茶園 ・仁淀川町 仁淀川町の基幹品目である茶をはじめとした農業者の経営持続を図るため、農産物の高付加価値化を進め、６次産業化の推進を図る。	(株)ビバ沢渡の販売額 会計年度：2月～1月	5,697万円 (R4)	7,300万円	１億円	**1　持続可能な経営基盤の確立・強化** ・経営改善計画に係るアクションプランの確実な実行 ・茶生産者への支援(仁淀川町茶栽培支援交付金) ・人材確保に向けた情報提供（移住施策、地域おこし協力隊など） ・経営体制の強化などに向けた産振アドバイザー制度の活用提案 **2　茶等を原料とした6次産業化の推進** (基幹品目である茶を原料とした商品の開発・改良及び販売促進) ・商品改良や新商品開発、店舗で提供する飲食等新メニューの開発 ・物販機能の強化 ・商談会等への出展による販路拡大、イベント出店による情報発信 ・HACCPの考え方を取り入れた衛生管理の実施 ・SNSやメディア等を通じたPR ・産振アドバイザー制度の活用提案、各種支援制度の情報提供 ・商談会等の情報提供、高知県地産外商公社・関係機関との連携支援 **3　後継者及び担い手の確保・育成** (基幹産業(茶)の維持) ・町内の茶生産事業者及び地域住民との連携による茶畑の維持・管理 ・茶生産者への支援(仁淀川町茶栽培支援交付金) ・人材確保に向けた情報提供（移住施策、地域おこし協力隊など） ・各種支援制度の情報提供、関係機関への橋渡し	**1　持続可能な経営基盤の確立・強化** (株)ビバ沢渡 ・経営改善計画の実行(4月～) ・(株)ビバ沢渡の経営改善に係る定例会の実施(6月、10月) (株)池川茶園 ・経営改善計画の実行(4月～) **2　茶等を原料とした6次産業化の推進** (基幹品目である茶を原料とした商品の開発・改良及び販売促進) ・SNSを活用した情報発信(4月～) ・「さんしんGO」による情報発信(6月) (株)ビバ沢渡 ・新商品開発(6月) →2品(香ル茶とレモンのゼリー、ほうじ茶と黒豆のパンナコッタ) ・新茶を使った「クリームあんみつ」を限定販売(6月～9月) ・道の駅・佐川のイベントに出店(6月) (株)池川茶園 ・親子茶と菓子の限定特別セットを販売(6月) ・フジテレビのカタログショッピング「ディノスグルメ」に「茶畑ティラミス」を掲載(4月～10月) **3　後継者及び担い手の確保・育成** (基幹産業(茶)の維持) ・茶業振興に係る地域おこし協力隊2名の採用(7月～)	2,388万円 (R6.2月～6月) ・R6到達目標達成率：78.5% ・対前年同期比：102.2%	**C**	**(成果)** ・(株)ビバ沢渡の利益増に向けたアクションプランの実施で経営改善につながっている。 ・(株)池川茶園の経営改善計画の実行により安定した利益の確保に向けた意識の醸成につながっている。 ・基幹産業である茶栽培の維持・保全に向けた取り組みが進んでいる。 **(課題)** ・茶産業を持続させるための担い手の確保 ・(株)ビバ沢渡の中長期的な視点に立った経営基盤の強化 ・(株)池川茶園の持続的な発展・成長に向けた経営基盤の強化 **(今後の方向性)** ・町内の茶生産事業者及び地域住民との連携による労働力の確保 ・地域おこし協力隊を活用した耕作放棄地の減少、茶産業の後継者育成 (株)ビバ沢渡 ・経営改善計画に係るアクションプランの確実な実行 ・関係者による定例会にて経営状況などの共有、課題への対応 (株)池川茶園 ・商品開発への産振アドバイザー制度の活用 ・経営改善計画に係るアクションプランの確実な実行
			(株)池川茶園の販売額 ㈱ビバ沢渡の会計年度に合わせて集計	4,093万円 (R4)	4,125万円	4,200万円			2,661万円 (R6.2月～8月) ・R6到達目標達成率：110.6% ・対前年同期比：102.9%	**S**	

(2)目標の達成に向けた進捗状況等

※達成度の基準について

進捗状況の基準	
S	数値目標の達成率　110%以上
A	数値目標の達成率　100%以上110%未満
B	数値目標の達成率　　85%以上100%未満
C	数値目標の達成率　　70%以上　85%未満
D	数値目標の達成率　　70%未満
－	達成度の判断が困難なもの

【P(Plan)】								【D(Do)】	【C(Check)】・【A(Action)】		
									現時点の進捗状況		
分野	No.	項目名・実施主体	指標	出発点	R6 到達目標	R9 目標	R6計画	R6取り組み状況	R6到達目標 に対する現状	達成度 (※)	現状分析
商工業	18	**さかわの地乳(ぢちち)ブランドの再構築による販路拡大** （佐川町） 【実施主体】 ・◎(有)吉本乳業 ・◎横畠商店 ・地元商工業者 ・地元酪農家 ・佐川町商工会 ・佐川町 ・JA高知県（仁淀川地区） 佐川町の特産である「さかわの地乳(ぢちち)」を使い、地元の事業者が特長のある商品づくりを行うとともに、販売促進のための仕組みを構築することで、さかわの地乳(ぢちち)ブランドを再構築し、地産外商の推進による外貨の獲得を目指す。	牛乳類商品販売額 会計年度：8月～7月	1.15億円 (R4)	1.25億円	1.57億円	**1　牛乳製造施設の持続可能な経営基盤の確立・強化** ((有)吉本乳業) ・HACCPの考え方を取り入れた社内体制の構築及び衛生管理の実施 ・経営改善策の検討 ((有)吉本乳業◎横畠商店、地元商工業者、佐川町、佐川町商工会) ・地乳プロジェクト推進会議の再開：町内事業者への積極的な参画の呼びかけによる推進体制の強化、宣伝方法の検討、販促物の作成、地乳PRイベント等の開催 ・商談会等への出展、プロモーション活動の実施 ・加工品の開発及び磨き上げ ・各種支援制度に関する情報提供、セミナー、商談会等の紹介、関係者への橋渡し ・産振アドバイザー制度の活用提案	**1　牛乳製造施設の持続可能な経営基盤の確立・強化** ((有)吉本乳業) ・R6年7月31日オープンの関西アンテナショップ「とさとさ」に商品（牛乳200ml、500ml）を出品。 ((有)吉本乳業◎横畠商店、地元商工業者、佐川町、佐川町商工会) ・R6年度第１回地乳プロジェクト推進会議開催(8/23)	1.17億円 (R5.8～R6.7) ・R6到達目標達成率：93.6% ・対前年比：100.0%	**B**	**(成果)** ◎(有)吉本乳業 ・関西アンテナショップ「とさとさ」への出品 ◎(有)吉本乳業◎横畠商店、地元商工業者、佐川町、佐川町商工会 ・地乳ブランドのPRに向けたR6年度第１回地乳プロジェクト推進会議を開催できた。 **(課題)** ◎(有)吉本乳業 ・物価高騰に伴うコスト経費の圧迫 ・物価高騰により、商品の値上げを余儀なくされており、一般消費者への宅配契約の減少やスーパー等での売上が伸び悩んでいる **(今後の方向性)** ◎(有)吉本乳業 ・産振アドバイザー制度を活用し経営改善を図ると共に、県内外への販路拡大等を目指す ◎(有)吉本乳業◎横畠商店、地元商工業者、佐川町、佐川町商工会 ・地乳プロジェクト推進会議について、推進体制の強化を図るとともに、宣伝方法の検討、地乳PRイベント等の開催などにより、地乳ブランドの再構築を行う
			牛乳加工品販売額 会計年度：1月～12月	2,269万円 (R4)	4,500万円	6,000万円	**2　牛乳加工品増産に伴う生産体制及び衛生管理体制の強化** (横畠商店) ・工場改修及び製造機械の更新、新規購入 ・新たな人材の雇用・育成 ・HACCPの考え方を取り入れた衛生管理の実施 ・法人化の検討 ・産振補助金の活用、各種研修会への参加	**2　牛乳加工品増産に伴う生産体制及び衛生管理体制の強化** (横畠商店) ・R6年5月のGWから東京アンテナショップ「まるごと高知」にブラボーアイスを出品開始。（7月末までに計3回追加注文を受ける） ・産振補助金審査会(6/28) →審査保留(R7年1月～3月の再審査を目指す。) ・R6年7月31日オープンの関西アンテナショップ「とさとさ」に商品4種(ブラボーアイス、地乳あいす、地乳もなか、仁淀ブルーあいす)を出品 ・R6年8月にTV(日テレ系「ZIP」とフジテレビ系「ノンストップ」)に商品(ブラボーアイス)が取り上げられた。	2,956.3万円 (R6.1～R6.9) ・R6到達目標達成率：87.6% ・対前年同期比：100.9%	**B**	**(成果)** ◎横畠商店 ・東京アンテナショップ「まるごと高知」、関西アンテナショップ「とさとさ」へ出品開始 ・全国放送のTV番組で取り上げられるなど、県内外へのアピールするきっかけを作れた **(課題)** ・産振補助金再審査(R7年1月～3月予定) ・現状の工場、製造機械では生産能力が限界に達しており、これ以上の販路拡大が困難 **(今後の方向性)** ・販路拡大に向け、工場を移転し生産性の向上を図るため、産振補助金の再審査に向けて取り組む ・産振アドバイザー制度を活用し、売上の増加により町内関係事業者への波及効果も高めていけるよう、事業計画をブラッシュアップしていく

(2)目標の達成に向けた進捗状況等

※達成度の基準について

進捗状況の基準	
S	数値目標の達成率　110%以上
A	数値目標の達成率　100%以上110%未満
B	数値目標の達成率　　85%以上100%未満
C	数値目標の達成率　　70%以上　85%未満
D	数値目標の達成率　　70%未満
－	達成度の判断が困難なもの

【P(Plan)】								【D(Do)】	【C(Check)】・【A(Action)】		
									現時点の進捗状況		
分野	No.	項目名・実施主体	指標	出発点	R6 到達目標	R9 目標	R6計画	R6取り組み状況	R6到達目標 に対する現状	達成度 (※)	現状分析
商工業	19	**「まきのさんの道の駅・佐川」を活用した交流人口の拡大と地域の活性化** （佐川町） 【実施主体】 ・◎佐川町 ・◎(一財)しあわせづくり佐川 R5年6月に開駅した「まきのさんの道の駅・佐川」を拠点として、地元の特産品等の販売を促進するとともに、地域の木材に触れられる場の提供や周辺の観光施設との連携を通じて、交流人口の拡大と地域の活性化を目指す。	年間売上高	—	296,820 千円	325,000 千円	**1　道の駅の運営体制の強化** ・安定した運営に向けた人員体制の構築 ・スタッフのスキルアップ等により責任者となれる人材の育成 ・必要に応じて外部人材の登用 ・運営状況等に関する定例会の実施 **2　道の駅を核とした町内周遊に向けた取組強化** ・町内関係事業者との連携による観光客の町内周遊に向けた仕掛け作り ・地域資源を活用した商品・メニューの磨き上げ及び開発 ・産振アドバイザー制度の活用提案、産業振興総合補助金の活用検討、各種支援制度に関する情報提供 **3　佐川町の特産品等の充実強化** (佐川町の特産品等の販売促進) ・佐川町特産品等の品揃えの充実 ・出荷(生産)者との連携体制の構築 ・道の駅オリジナル商品(バウムクーヘン)のブラッシュアップ ・SNS、メディア等を活用した情報発信 ・ECサイトの活用による売上向上及び販路拡大 ・県のメディアサイト等での情報発信、産振アドバイザー制度の活用提案	**1　道の駅の運営体制の強化** ・定例会の開催(毎週火曜日) ・現場の即戦力となる経験者の雇用に向けた情報収集 ・次の現場責任者となるべき若手職員のOJTの実施 **2　道の駅を核とした町内周遊に向けた取組強化** ・町内のイベント「牧野博士生誕祭」と連携したマルシェイベントの開催 ・１周年祭の開催。佐川町をはじめ仁淀川流域の多くの事業者がマルシェに参加し、多くの来客で賑わった(6月29日、30日) また、仁淀川流域各観光協会が参加し、各地の観光情報の発信・提供を行った ・道の駅オリジナルかき氷の販売開始。7月からの「さかわかき氷街道」に参加 **3　佐川町の特産品等の充実強化** (佐川町の特産品等の販売促進) ・産直コーナーの主要販売元である「はちきんの店」に対して県農産物マーケティング課が支援を行っており、地域本部としても道の駅の産直コーナーの売り上げ増に繋げるため、連携して支援を実施 ・１周年祭で、道の駅のキャラクターを活用したSNSへの発信などにより多く集客ができた(6月29日、30日)	199,458千円 (R6.4～R6.9) ・R6到達目標達成率： 134.4% ・対前年同月比：－ (R5.6開駅のため)	**S**	**(成果)** ・町内のイベント「牧野博士生誕祭」と連携したマルシェイベントの開催等、来客者を町内周遊に繋げるための取り組みを実施できている ・レジ通過者数累計40万人達成(6月30日) **(課題)** ・運営スタッフの人員不足 ・品揃えの充実 ・開駅からの集客の維持 **(今後の方向性)** ・持続的な運営のための人材育成・確保 ・産直コーナーの魅力化のため、佐川はちきんの店とのさらなる連携 ・道の駅オリジナル商品の新規開発及びブラッシュアップ、ECサイトの活用による売り上げの向上に、産振アドバイザー制度を活用 ・認知度向上のためのイベントの開催や情報発信の強化 ・町内周遊のしくみづくり
			レジ通過者数	—	27万人	32万人			140,414人 (R6.4～R6.9) ・R6到達目標達成率： 104.0% ・対前年同月比：－ (R5.6開駅のため)	**A**	
観光	20	**「奇跡の清流仁淀川」流域の広域観光推進** （仁淀川流域全域） 【実施主体】 ・◎(一社)仁淀ブルー観光協議会 ・土佐市 ・いの町 ・仁淀川町 ・佐川町 ・越知町 ・日高村 ・(一社)土佐市観光協会 ・(一社)いの町観光協会 ・仁淀川町観光協会 ・(一社)さかわ観光協会 ・越知町観光協会 ・(一社)日高村観光協会 仁淀川地域の自然、歴史、文化、生活、産業などの多様な地域資源を生かして旅行商品化を進めることで仁淀川ファンの拡大を図る。また、全国屈指の水質を誇る仁淀川のブランド化を進め、国内外での知名度を高めることで交流人口の拡大を図り、地域の活性化を目指す。	主要宿泊施設の宿泊者数	7.9万人 (R4)	6.9万人	7.4万人	**1　魅力づくりの強化・推進** ・滞在型観光の推進 ・「特産品」や「食」の開発・磨き上げ支援 **2　県内外への情報発信の強化・推進** ・旅行会社へのプロモーションの強化 ・メディアを活用した情報発信の強化 ・マスコミの活用による情報発信の強化 **3　受入・おもてなし体制の整備強化・推進** ・観光の担い手確保・育成の強化 ・事務局内の情報ネットワーク化の推進 ・サステナブル・ツーリズムの推進 **4　６市町村連携による広域観光の強化・推進** ・マーケティングデータ収集の強化 ・関係機関等との連携強化 **5　インバウンド観光の推進** ・ニーズに沿った魅力づくりの推進 ・受入れに必要な環境や体制の整備 ・プロモーションの推進	**1　魅力づくりの強化・推進** ・観光タクシーの利用促進 →実績：51台、121名、1,583,600円(R6.7月時点) ・仁淀ブルー体験博の開催(R6.9.28～R6.11.23) →開催に向けて地域事業者の商品造成や磨き上げを支援(56プログラム) ・イベント出展等での特産品等のPR及び販売 →34点、206個、119,313円(R6.7月時点) **2　県内外への情報発信の強化・推進** ・KVCAや企業主催の商談会への参加(4/16、5/15、5/29) ・ガイドブック及び簡易版スポットマップの作成・配布 (ガイドブック：60,000部、簡易版スポットマップ：20,000部) ・マスコミの活用による情報発信の強化 →情報提供数：10件 無料で掲載された件数：９件(R6.7月時点) **3　受入・おもてなし体制の整備強化・推進** ・事務局内の情報ネットワーク化の推進 →問合せの情報を分析し効果的にHP等で情報提供することで、職員の対応が必要な問合せが昨年度同期比74%に減少。 **4　６市町村連携による広域観光の強化・推進** ・流域来訪者へのアンケート調査 →回収：179件(R6.6月時点) ・DMOワーキングの開催(8/8) **5　インバウンド観光の推進** ・観光タクシーのインバウンド利用 →実績：７台、22名、253,150円(R6.7月時点、再掲) ・デジタルメディアを中心としたPRの推進 →公式HP(英語版)の閲覧数：10,140PV(R6.8月時点) [活用した支援策] ・高知県広域観光推進事業費補助金	36,671人 (R6.４月～８月) ・R6到達目標達成率： 127.6% ・対前年同期比：93.7%	**S**	**(成果)** ・近年の「仁淀ブルー」の認知度向上や昨年度の連続テレビ小説「らんまん」の放送、「まきのさんの道の駅・佐川」のオープン効果等により、年間目標値に対する目標達成率は、主要宿泊施設の宿泊者数は127.6%、主要観光施設の入込数は131.9%と順調に推移している。(協議会で取り組んでいる観光タクシーのオンライン予約化なども伸張につながっている。) ・また、今年度は、紙の博物館の企画展も人気であり、入込を伸ばしている。 **(課題)** ・市町村によっては、連続テレビ小説効果によるR5同時期の入込数、宿泊者数が多かったことによる反動減がみられる。 （特に佐川町・越知町） **(今後の方向性)** ・これまでに定着してきた「仁淀ブルー」や「牧野博士ゆかりの地」というブランドを生かした商品造成やPRに加え、「仁淀ブルー体験博」や「ONSEN・ガストロノミーウォーキングin仁淀川」等、宿泊につながりやすい取り組みを進める。
			主要観光施設の入込数	99.8万人 (R4)	115.2万人	124.4万人			633,142人 (R6.４月～８月) ・R6到達目標達成率： 131.9% ・対前年同期比：87.4%	**S**	
			観光消費額	1,698 百万円 (R4)	2,380 百万円	3,415 百万円			— (R7.４月以降に集計・公表)	**－**	

(2)目標の達成に向けた進捗状況等

※達成度の基準について

進捗状況の基準	
S	数値目標の達成率　110%以上
A	数値目標の達成率　100%以上110%未満
B	数値目標の達成率　　85%以上100%未満
C	数値目標の達成率　　70%以上　85%未満
D	数値目標の達成率　　70%未満
－	達成度の判断が困難なもの

【P(Plan)】								【D(Do)】	【C(Check)】・【A(Action)】		
									現時点の進捗状況		
分野	No.	項目名・実施主体	指標	出発点	R6 到達目標	R9 目標	R6計画	R6取り組み状況	R6到達目標 に対する現状	達成度 (※)	現状分析
観光	21	**土佐市における体験型観光と食観光の推進** (土佐市) 【実施主体】 ・◎(一社)土佐市観光協会 ・土佐市 ・酔鯨酒造(株) ・宇佐ホエールウォッチング協会 ・土佐市ドラゴンガイドチーム 地域の観光や食の資源を活用し、体験型観光と食観光を組み合わせることによって滞在時間の延長を図り、宿泊を伴う滞在型観光につなげる。	体験型・食観光における入込数	1,743人 （R4）	1,900人	2,500人	**1　地域資源を活用した旅行商品化** (地域資源の掘り起こし及び活用による商品化) ・地域ならではの特性を活かした新たな体験型観光商品の開発及び既存観光商品のブラッシュアップ **2　受入態勢の強化** (関係機関と連携した観光商品開発及びツアー客の受入) ・(一社)仁淀ブルー観光協議会、近隣市町村、観光協会や関係機関と連携した観光商品や体験メニューの開発 ・観光商談会への参加や旅行会社へのセールス ・HP、SNSの活用による情報発信の強化 **3　誘客の推進** (関係機関と連携した誘客策の実施) ・新たな体験メニューの開発検討 ・観光客誘致のための関係事業者との連携	**1　地域資源を活用した旅行商品化** (地域資源の掘り起こし及び活用による商品化) ・仁淀ブルー観光協議会と連携した新たな体験型観光メニュー(温泉ガストロノミー)の実施（10月） **2　受入態勢の強化** (関係機関と連携した観光商品開発及びツアー客の受入) ・土佐市の友好都市「江別市」とコラボしたマルシェの運営実施(7月) ・仁淀ブルー観光協議会と連携した新たな体験型観光メニュー(温泉ガストロノミー)の実施（10月）※再掲 ・HP、SNSを活用したイベント情報等のPR実施 **3　誘客の推進** (関係機関と連携した誘客策の実施) ・酔鯨酒造(株)主催のファンミーティング「酔鯨蔵まつり」を実施(5月) ・米粉と酒粕から使用したクッキーを新商品開発(4月) ・特捜戦隊デカレンジャーとのコラボパッケージ日本酒を制作(5月) ・日本酒の新商品開発4件(4～6月)	579人 (R6.4月～8月) ・R6到達目標達成率：73.1% ・対前年同期比：71.7%	**C**	**(成果)** ・関係機関との連携により、新たな体験型観光が実現でき、観光メニューの幅が広がっている ・酔鯨酒造(株)を中心として、新商品の開発が進んでおり、食観光の推進につながっている **(課題)** ・ガイドの不足 ・さらなる情報発信の強化 ・既存体験型観光メニューの集客強化 **(今後の方向性)** ・ガイド人材の獲得に向けた取り組みの検討 ・様々な広報媒体を通じた集客の強化 ・新たな層の観光客の獲得と周遊による市内波及効果を目指していく
			酔鯨土佐蔵の施設来客数	7,404人 （R4）	8,000人	9,800人			4,423人 (R6.4月～8月) ・R6到達目標達成率：132.7% ・対前年同期比：110.6%	**S**	
観光	22	**観光交流施設「南風」を核とした新居地区の活性化** (土佐市) 【実施主体】 ◎土佐市等 土佐市の新たな地域振興や情報発信の拠点として整備した観光交流施設「南風」を中心として、地域住民が主体となった、新居地区における交流人口の拡大と地域の活性化を目指す。	施設来客数	11.6万人 （R4）	12.1万人	13.6万人	**1　定期的な集客イベントの開催** ・イベント開催の実施体制の確立 ・新居緑地公園を含めたイベントの開催 ・(一社)仁淀ブルー観光協議会、(一社)土佐市観光協会と連携した誘客策の検討 ・インバウンド対応策の検討(クルーズ船来港に合わせたイベントの実施等) ・広報でのイベント情報の発信 **2　集客につなげる施設づくり** ・地域農家、仕入れ先との関係構築による、魅力ある商品のPR、提供 ・魅力向上を図る施設づくりの検討 ・様々な広報媒体を活用した情報発信 **3　施設の安定運営・地域と連携した新たな人材の確保** ・施設の安定運営体制の整備、地域住民と連携した人材の発掘及び育成	**1　定期的な集客イベントの開催** ・市の直営による運営開始(4月～) ・1階農産物販売ブースの利用者公募実施(4月) ・公募実施による利用者の決定、物販の開始(5月) **2　集客につなげる施設づくり** ・運営体制の確立に向けた協議を市役所で継続して実施(4月～) **3　施設の安定運営・地域と連携した新たな人材の確保** ・1階農産物販売ブースの利用者が決定(5月)※再掲	3.8万人 (R6.4月～8月) ・R6到達目標達成率：75.4% ・対前年同期比：93.0%	**C**	**(成果)** ・施設活用に向けた整理が行政を中心として進んでいる **(課題)** ・施設活用に向けた体制の確立 **(今後の方向性)** ・市が施設運用の整理をした上で、地域の活性化の拠点として施設活用が図られるよう関係者協議を進めていく

(2)目標の達成に向けた進捗状況等

※達成度の基準について

進捗状況の基準	
S	数値目標の達成率　110%以上
A	数値目標の達成率　100%以上110%未満
B	数値目標の達成率　　85%以上100%未満
C	数値目標の達成率　　70%以上　85%未満
D	数値目標の達成率　　70%未満
－	達成度の判断が困難なもの

【P(Plan)】								【D(Do)】	【C(Check)】・【A(Action)】		
									現時点の進捗状況		
分野	No.	項目名・実施主体	指標	出発点	R6 到達目標	R9 目標	R6計画	R6取り組み状況	R6到達目標 に対する現状	達成度 (※)	現状分析
観光	23	**いの町の地域資源を活かした体験型観光等の推進** (いの町) 【実施主体】 ・◎(一社)いの町観光協会 ・いの町 仁淀川の美しい自然、土佐和紙の歴史、古い町並みなど、いの町の持つ魅力を活かして体験メニューや土産品づくりを進めるとともに、季節ごとの特色あるイベントを開催することで交流人口の拡大を図り、地域の活性化につなげる。	体験参加人数	22,527人 (R4)	30,200人	30,500人	**1　体験メニューの販売促進・磨き上げ** ・まち歩き等体験メニューの磨き上げ及び地域の特産品と絡めたコースづくり ・観光事業者間の連携強化促進 ・仁淀ブルー体験博への参画 ・都市圏での物産観光展示会・インバウンド商談会等でのPR、海外メディア等へのPR、SNS等を活用した、体験メニューの周知 **2　誘客促進の取り組み** ・イベント内容の磨き上げ、イベント来場者に向けたいの町の魅力発信 ・SNS等を活用したイベントの周知 ・れんけいこうち日曜市出店事業への参加、県内外での商談会参加 ・特産品オンラインショップの運営、SNS等を活用した地元産品のPR ・土佐和紙工芸村くらうど宿泊棟の整備 ・グリーン・パークほどのロッジ整備 ・にこ淵基本構想の策定、渋滞・オーバーツーリズム対策とトイレ等の整備 ・地域周遊促進事業の実施(国交省四国整備局等)	**1　体験メニューの販売促進・磨き上げ** ・まちあるきガイド勉強会の実施:5回 ・町内事業者等の仁淀ブルー体験博への参画:4件 ・新規体験メニューの開始（ゴリ釣り、ミニ88箇所めぐり) ・ここにこBBQの低価格・団体向けメニューの提供開始 **2　誘客促進の取り組み** ・イベント等の開催 紙のこいのぼり(5/3～5/5) 仁淀ブルー国際写真コンテスト(7/1～1/10) ・地域産品の販売促進 SNSを活用した地元産品のPR(マンゴー、きび街道、梨等) ・受入環境の整備 にこ淵オーバーツーリズム対策 対策計画協議会(5月) 対策計画採択(7月) 情報掲示板(サイネージ等)新設に向けた設置場所等調整(9月～) 新たな観光コンテンツの造成に向けた関係者協議、既存観光コンテンツの磨き上げ(9月～)	12,659人 (R6.4月～8月) ・R6到達目標達成率：100.6% ・対前年同期比：99.4%	**A**	**(成果)** ・仁淀ブルー体験博への新規事業者の参画(4件) **(課題)** ・主要観光施設の来場者が減少傾向 ・天候に影響される体験メニューが主体のため新たなメニューの開発 **(今後の方向性)** ・主要観光施設毎の利用者動向分析及び対応策の検討 ・体験メニューの現状分析、ニーズを反映したメニューづくり ・体験博を経て造成された体験メニューの通年提供
			体験メニュー売上高	4,349万円 (R4)	5,891万円	5,950万円			3,225万円 (R6.4月～8月) ・R6到達目標達成率：131.4% ・対前年同期比：117.3%	**S**	
			主要観光施設入込数	391,119人 (R4)	419,800人	432,500人			148,599人 (R6.4月～8月) ・R6到達目標達成率：84.9% ・対前年同期比：82.4%	**C**	
観光	24	**いの町本川地区での山岳観光の推進** (いの町) 【実施主体】 ・◎いの町 ・◎(一社)いの町観光協会 木の香温泉や山荘しらさ、木の根ふれあいの森を拠点とし、他の観光施設や民間企業と連携して、UFOラインと呼ばれる石鎚山系の景観や山岳資源を生かした体験メニューを観光客や山歩き愛好者に提供することで、交流人口の拡大を図る。	道の駅木の香・山荘しらさ・木の根ふれあいの森の利用者数	59,634人 (R4)	60,800人	62,600人	**1　観光施設と連携した体験型観光の推進と施設の整備** ・しらさ野営場の整備 ・道の駅木の香等各拠点施設間の連携 **2　新たな体験資源を活用した体験メニュー** ・森林軌道・冬山・E-bike等の観光素材を活用した体験メニューの商品化 ・登山・トレイルランニング等のイベント開催 ・山の案内所を活用したワークショップ・ガイドイベントの造成 ・旅行会社等への情報発信、(株)ソラヤマいしづち、(一社)仁淀ブルー観光協議会と連携した旅行会社等へのセールス ・山の案内人組織「BLU Montino」のPRによる活躍機会の創出 ・webサイト、SNSでの情報発信	**1　観光施設と連携した体験型観光の推進と施設の整備** ・しらさ野営場の環境調査(8月契約) ・UFOライン山の案内所移転オープン(4/14) ・山の案内所によるSNSを活用した情報発信(4～9月:82回) ・道の駅木の香閉館(5月末) →営業継続に向けた指定管理者募集(5月) →木の香温泉営業再開(8/1～) **2　新たな体験資源を活用した体験メニュー** ・UFOラインウォーク(4/5、6) ・UFOラインアタック(4/7) ・伊吹山・瓶ヶ森登山ツアー(7/13)※雨天のため中止 ・瓶ヶ森・自念子ノ頭登山ツアー(9/21) ・山の案内所イベント(6/22、9/7、23)	12,291人 (R6.4月～8月) ・R6到達目標達成率：48.5% ・対前年同期比：46.0%	**D**	**(成果)** ・山の案内所によるリアルタイムな情報発信の質・量ともに向上 **(課題)** ・観光施設の魅力向上 ・山岳観光地としての知名度の低さ ・新たな体験及び旅行商品不足 ・しらさ野営場再整備によるしらさ周辺の観光振興のさらなる推進 ・道の駅木の香の持続的な運営 **(今後の方向性)** ・観光客を惹き付ける施設の魅力づくり ・山岳観光地としてのイメージを確立させるための情報発信の強化 ・地域資源を生かしたより魅力のある観光商品の造成・販売 ・しらさ野営場再整備に向けた環境調査の継続 ・道の駅木の香の経営の安定化

(2)目標の達成に向けた進捗状況等

※達成度の基準について

進捗状況の基準	
S	数値目標の達成率　110%以上
A	数値目標の達成率　100%以上110%未満
B	数値目標の達成率　　85%以上100%未満
C	数値目標の達成率　　70%以上　85%未満
D	数値目標の達成率　　70%未満
－	達成度の判断が困難なもの

【P(Plan)】								【D(Do)】	【C(Check)】・【A(Action)】		
									現時点の進捗状況		
分野	No.	項目名・実施主体	指標	出発点	R6 到達目標	R9 目標	R6計画	R6取り組み状況	R6到達目標 に対する現状	達成度 (※)	現状分析
観光	25	**仁淀川町滞在交流型観光の推進** (仁淀川町) 【実施主体】 ・◎仁淀川町 ・◎(株)ビバ沢渡 ・◎仁淀川町観光協会 ・指定管理者 自然の景観を生かした滞在交流型観光の拠点施設としてキャンプ場やアクティビティ施設、宿泊施設の整備を行うとともに、他の観光スポットとの周遊ルートを確立し、滞在交流型観光を推進することで地域の活性化につなげる。	キャンプ場利用者数 指標の対象：夢の森公園キャンプ場、ふれあい公園キャンプ場、秋葉の宿グランドキャンプ場	1,327人 (R4)	1,850人	2,000人	**1　滞在交流型観光の推進** (岩屋川渓谷を活用した滞在交流型観光の戦略プラン等の実践) ・受入環境の整備 ・滞在観光コンテンツの充実 ・町内観光施設との連携による周遊プランの造成及びOTAの活用促進 ・情報発信・プロモーション ・町内観光事業者や関係者間の連携強化 ・誘客促進に関する情報の収集・発信 **2　宿泊施設(キャンプ場含む)の整備と施設運営** (宿泊施設の整備による宿泊者の受入体制の強化) ・ゆの森の客室増に向けた改修工事等宿泊施設の整備 ・宮崎の河原対岸での宿泊施設の整備 ・キャンプ場等の整備及び指定管理者制度導入の検討 ・各種支援制度、産振アドバイザー制度の活用提案や情報提供 **3　岩屋川渓谷を活かした滞在交流型観光施設の運営** (NIYO FLY(岩屋川渓谷吊り橋・ジップライン施設)の持続可能な経営体制の構築) ・戦略プランの実践及び検証 ・経営改善計画に係るアクションプランの確実な実行 ・経営体制の強化などに向けた産振アドバイザー制度の活用提案	**1　滞在交流型観光の推進** (岩屋川渓谷を活用した滞在交流型観光の戦略プラン等の実践) ・遊歩道の整備（6月） ・まちゆうで会議の実施(4月～) ・SNSを活用した情報発信(4月～) ・メディアを活用した情報発信(4月～) ・観光商談会等でのPR ・ハイシーズンに向けてプロモーション強化（広告媒体増） **2　宿泊施設(キャンプ場含む)の整備と施設運営** (宿泊施設の整備による宿泊者の受入体制の強化) ・ゆの森改修に係る事業計画等の作成(4月～) ・宮崎の河原対岸での宿泊施設の整備の検討(4月～) ・ふれあい公園キャンプ場における施設整備の検討(4月～) **3　岩屋川渓谷を活かした滞在交流型観光施設の運営** (NIYO FLY(岩屋川渓谷吊り橋・ジップライン施設)の持続可能な経営体制の構築) ・(株)ビバ沢渡と町、県との運営状況等に関する定例会の実施（6月、10月）	1,331人 (R6.4月～8月) ・R6到達目標達成率:172.7% ・対前年同期比：113.3%	**S**	**(成果)** ・町内観光事業者によるまちゆうで会議の実施等により、事業者間の連携が進み、町内における観光客の受入体制が強化され、「滞在交流型観光」の推進に向けて機運が高まってきた。 ・町内アクテビティ施設間の連携により、観光客の分散・周遊につながっている。 ・県外客が圧倒的に多く、沢渡茶のPRにもつながっている。 **(課題)** ・さらなる観光客の受入体制（宿泊施設）の整備 ・町内観光施設への周遊促進のしくみづくり ・観光ガイドの人員体制の強化 ・アウトドア閑散期の誘客促進のしくみづくり **(今後の方向性)** ・岩屋川渓谷を活用した滞在交流型観光の戦略プランの実践 ・観光客の受入環境の整備 ・町内観光施設との連携による周遊プランの造成 ・滞在交流型観光コンテンツの充実 ・情報発信・プロモーションの強化 ・キャンプ場(吾川スカイパーク、星が窪キャンプ場)整備と施設運営(指定管理者制度の導入) ・NIYO FLY(岩屋川渓谷つり橋・ジップライン施設)の持続可能な経営体制の構築
			体験施設利用者数 指標の対象：NIYO FLY	－	3,800人	4,400人			1,468人 (R6.4月～9月) ・R6到達目標達成率：77.3% ・対前年同期比：－ (R5.8オープンのため)	**C**	
			主要観光施設入込数 指標の対象：ゆの森(入浴含む)、宝来荘(レストラン含む)、しもなの郷、秋葉の宿	32,917人 (R4)	33,100人	34,800人			14,420人 (R6.4月～8月) ・R6到達目標達成率：104.6% ・対前年同期比：93.9%	**A**	
観光	26	**佐川町の歴史と文化を生かした観光の推進** （佐川町） 【実施主体】 ・◎佐川町 ・◎(一社)さかわ観光協会 ・◎佐川町内の地域づくり団体・個人 歴史的な街並みの整備を行うとともに、観光資源の効果的な活用により、「歴史と文教のまち・佐川」の魅力を存分に感じられるまちづくりを行政・観光協会・地域が一体となって進める。	上町地区への入込客数	30,644人 (R4)	100,000人	100,000人	**1　観光資源の利活用、おもてなしの体制づくり** ・歴史的な遺産や街並みの維持・管理、町内施設等を周遊する仕掛け作り、パンフレット・HP等の活用、関係機関との連携による情報共有・情報発信等 ・牧野公園を核とした「まちまるごと植物園」構想の展開 ・町歩きガイドの育成・確保、外国人観光客の受入体制の強化に向けた勉強会の実施、ガイドメニューの充実化検討 ・県のメディアサイト等での情報発信等 (焼酎蔵の利活用) ・用地買取、実施設計の策定、施設整備 ・観光拠点等整備事業費補助金等の活用検討、県のメディアサイト等での情報発信等 (青山文庫の改修検討) ・改修内容の検討 ・各種支援制度に関する情報提供等 **2　体験型観光の推進** ・（一社）仁淀ブルー観光協議会主催の体験型博覧会への参加者増に向けた体験メニューの磨き上げ、常設体験型観光メニューの実施検討 ・県のメディアサイト等での情報発信	**1　観光資源の利活用、おもてなしの体制づくり** ・「牧野博士生誕祭」の開催(4月20日、21日) ・「『牧野富太郎の聖地を歩く』虚空蔵山フクリンササユリ編」の開催（6月15日） ・「さかわかき氷街道2024」の開催(7月1日～9月30日) ・「まちまるごと植物園」事業の一環として、「親子で参加！牧野公園散策と木工製作体験」を開催。牧野公園の探索や町産木材でスマホスタンドの制作体験を実施(8月24日、25日、9月21日、22日) (焼酎蔵の利活用) ・用地買収契約済み ・耐震補強基本計画及び活用計画策定が8月末完了 ・10月以降に施設管理事業者の選定 (青山文庫の改修検討) ・特になし **2　体験型観光の推進** ・「仁淀ブルー体験博2024」開催(9月28日～11月23日)	74,875人 (R6.4～R6.8) ・R6到達目標達成率：179.7% ・対前年同期比：78.7%	**S**	**(成果)** ・連続テレビ小説「らんまん」の放送以前(R4年度)の上町地区入込客数が月平均で約2,500人ほどであったが、放送終了後のR6年6月時点で月平均約13,000人を超えており、佐川町を訪れる観光客等を継続して確保できている ・町歩きガイドのインバウンド対応として毎週火曜日に英語の勉強会を継続して実施しており、海外からのツアー旅行客の受け入れ等に対応できている ・年間通じて各種イベントも開催され、集客の仕組み作りができている **(課題)** ・上町まち歩きガイド利用者数の伸びなやみ ・焼酎蔵の利活用に向けて、施設管理事業者を公募する際の条件設定(飲食や宿泊に係る備品整備の初期費用等を役場、事業者のどちらにするかや、家賃の設定等)について、役場としてこれまでに経験のない分野となるため、より慎重に内容を詰めていく必要がある **(今後の方向性)** ・町歩きガイドの新規募集のための、養成講座等を実施するとともに、ガイドメニュー充実の検討等、観光客の受入体制を強化していく ・焼酎蔵の観光施設への改修に県観光補助金を活用(R8年度予定)
			上町まち歩きガイド利用者数	4,438人 (R4)	5,600人	5,900人			1,249人 (R6.4～R6.8) ・R6到達目標達成率：53.5% ・対前年同期比：28.2%	**D**	

(2)目標の達成に向けた進捗状況等

※達成度の基準について

進捗状況の基準	
S	数値目標の達成率　110%以上
A	数値目標の達成率　100%以上110%未満
B	数値目標の達成率　　85%以上100%未満
C	数値目標の達成率　　70%以上　85%未満
D	数値目標の達成率　　70%未満
－	達成度の判断が困難なもの

【P(Plan)】								【D(Do)】	【C(Check)】・【A(Action)】		
									現時点の進捗状況		
分野	No.	項目名・実施主体	指標	出発点	R6 到達目標	R9 目標	R6計画	R6取り組み状況	R6到達目標 に対する現状	達成度 (※)	現状分析
観光	27	**越知町の「アウトドアなまち」体験型観光の推進** （越知町） 【実施主体】 ・◎越知町 ・◎(株)スノーピーク ・◎越知町観光協会 仁淀川でのカヌー・ラフティングや横倉山等の地域の観光資源を組み合わせた体験型観光のメニューづくりや地場産品等を活用した商品の販売拡大により、仁淀川と横倉山の全国発信と観光客誘致による交流人口の拡大と地域の活性化を目指す。	カヌー・ラフティング利用者数	1,830人 (R4)	2,100人	2,400人	**1 カヌー・ラフティングの利用者拡大** ・ガイド確保に向けた情報発信 ・OTAを活用した商品販売 ・各メディアを活用した情報発信 ・企業研修等の活用促進による平日の稼働率向上 ・カヌー事業継続方法の検討	**1 カヌー・ラフティングの利用者拡大** ・各メディアを活用した情報発信 ・北海道滝上町との児童交流によるラフティングの受入れ(8/1) ・OTAを活用した商品販売	1,394人 (R6.4月～8月) ・R6到達目標達成率：159.3% ・対前年同期比：102.1%	**S**	**(成果)** ・ラフティング利用者数は、メディアを活用した情報発信やOTAの活用により、前年対比104.8%となっている。 **(課題)** ・平日の稼働率向上 ・カヌー発着場への砂の堆積により、カヌーの発着が困難となり、カヌー事業の運行停止(R5.6～) **(今後の方向性)** ・企業研修等の活用促進やSNSを活用した情報発信によるさらなる集客の促進 ・カヌー事業継続方法の検討
			キャンプ場利用者数	9,121人 (R4)	11,000人	11,090人	**2 キャンプ場の運営と誘客促進** ・施設の管理、利用者の状況に応じた店舗スタッフの募集・確保 ・各メディアを活用した情報発信による誘客促進、スノーピーク会員への訴求 ・企業研修等誘致による新規顧客の獲得 ・高価格帯商品(グランピングイベント)の販売 ・かわの駅での定期的なマルシェ開催	**2 キャンプ場の運営と誘客促進** ・各メディアを活用した情報発信、スノーピーク会員への訴求 ・企業による貸し切りグランピングイベントの開催（神戸トヨペット） ・かわの駅での定期的なマルシェ開催(5/18、19、7/27、9/14、15、16)	3,975人 (R6.4月～8月) ・R6到達目標達成率：86.7% ・対前年同期比：90.6%	**B**	**(成果)** ・類似のキャンプ場等、競合先が増え、またキャンプブームが下火の中で、キャンプ場の利用者数やかわの駅おちのレジ通過者数はオープン時の7～8割程度を維持しながら、グランピングイベントが好調 **(課題)** ・客単価の向上 ・新規顧客の獲得 ・イベント等による集客促進 **(今後の方向性)** ・グランピングイベント等の高価格帯商品の販売促進 ・イベント出店や企業研修誘致による新規顧客の獲得 ・かわの駅におけるイベント開催 ・道の駅佐川等の周辺施設との連携による集客力向上 ・かわの駅おちの利用者の増加に向けた産振アドバイザー制度活用を提案
			かわの駅おちレジ通過者数	19,869人 (R4)	23,500人	34,000人			6,872人 (R6.4月～8月) ・R6到達目標達成率：70.2% ・対前年同期比：71.7%	**C**	
			かわの駅おち販売額	9,823千円 (R4)	10,800千円	12,500千円			3,956千円 (R6.4月～7月) ・R6到達目標達成率：109.9% ・対前年同期比：68.5%	**A**	
			横倉山自然の森博物館入館者数	9,470人 (R4)	10,000人	10,900人	**3 横倉山のさらなる魅力向上** ・横倉山自然の森博物館の展示内容の多様化・刷新 ・他県・他市町村の博物館との連携 ・企画展、観察会の実施 ・博物館HPを活用した情報発信 ・博物館友の会の会員増加によるリピーターの獲得 ・横倉山トレッキングツアーのガイド勉強会の実施 ・テーマを設けたツアーの実施 ・PRによる知名度の向上	**3 横倉山のさらなる魅力向上** ・企画展、観察会の実施 （企画展：古生物原画、観察会：ヒメボタル観察会等） ・SNSやHPを活用した情報発信 ・ガイド勉強会の実施	4,086人 (R6.4月～8月) ・R6到達目標達成率：98.1% ・対前年同期比：51.4%	**B**	**(成果)** ・博物館入館者数は連続テレビ小説「らんまん」の特需が終わったことにより半減しているが、入館者数が1,000人を超える月もあり、またトレッキングツアーについても、じゃらんなどOTAの活用や、HPによる情報発信により、昨年度の7割程度を維持している。 **(課題)** ・継続的に来館してもらえるための仕組み作り **(今後の方向性)** ・企画展や観察会の実施 ・SNSやHPを活用した情報発信

(2)目標の達成に向けた進捗状況等

※達成度の基準について

進捗状況の基準	
S	数値目標の達成率　110%以上
A	数値目標の達成率　100%以上110%未満
B	数値目標の達成率　　85%以上100%未満
C	数値目標の達成率　　70%以上　85%未満
D	数値目標の達成率　　70%未満
－	達成度の判断が困難なもの

【P(Plan)】								【D(Do)】	【C(Check)】・【A(Action)】		
									現時点の進捗状況		
分野	No.	項目名・実施主体	指標	出発点	R6 到達目標	R9 目標	R6計画	R6取り組み状況	R6到達目標 に対する現状	達成度 (※)	現状分析
観光	28	**日高村の地域資源を生かした体験型観光等の推進** (日高村) 【実施主体】 ・◎(一社)日高村観光協会 ・日高村 仁淀川や猿田洞、日下川貯水池、新日下川放水路等の日高村ならではの特色を生かした体験型観光の推進や、小村神社秋の大祭等の特色あるイベントの実施により、交流人口の拡大を図り、地域の活性化を目指す。	体験参加人数	2,319人 (R4)	2,550人	2,700人	**1　観光情報の発信及び観光事業の推進体制強化** ((一社)日高村観光協会を中心とした情報発信) ・観光案内所への来客や問い合わせへの対応、観光情報の一元化によるHPやSNS等での情報発信、ガイドブックの作成、各種メディアの活用 (日下駅の観光拠点施設化) ・日下駅を核とした観光客の受入態勢の整備 ・産振アドバイザー制度の活用提案、各種補助金の紹介 **2　体験型観光の推進** (体験観光メニュー等の磨き上げ) ・新日下川放水路を活用したインフラツーリズムなどの新たな体験観光メニューの開発 ・ガイド人材の育成及び発掘、村内事業者間の連携による周遊プランの造成 ・産振アドバイザー制度の活用提案、支援制度等の情報提供 (体験観光メニュー等の販売促進) ・(一社)仁淀ブルー観光協議会と連携した旅行会社等へのセールス及び情報発信 ・産振アドバイザー制度の活用提案、商談会等の紹介 **3　小村神社周辺イベントの企画・実施** (小村神社周辺資源を活用したイベント等の開催) ・イベントの企画・実施及び情報発信、(一社)仁淀ブルー観光協議会との連携によるプロモーション強化、親水公園等の整備・活用 ・産振アドバイザー制度の活用提案、イベント情報等の広報支援	**1　観光情報の発信及び観光事業の推進体制強化** ((一社)日高村観光協会を中心とした情報発信) ・観光案内所への来客や問い合わせへの対応、観光情報の一元化によるHPやSNS等での情報発信、各種メディアの活用 ・ガイドブック作成中(R7年度末完成予定) (日下駅の観光拠点施設化) ・観光列車へのお手振りのおもてなし ・特産品の販売 ・パンフレットの配置等による観光案内 **2　体験型観光の推進** (体験観光メニュー等の磨き上げ) ・インフラツーリズムなどの新たな体験観光メニューの開発、商品造成 (観光庁:地域観光"新発見"事業) (体験観光メニュー等の販売促進) ・日下川調整池及び日下川新規放水路を活用した教育旅行プログラム造成に向け教育旅行向けのツール整備、販路開拓の検討 (地域観光課:高知県自然・体験型観光アドバイザーの派遣) **3　小村神社周辺イベントの企画・実施** (小村神社周辺資源を活用したイベント等の開催) ・江尻地区親水公園プレオープンイベント開催(10/11)	803人 (R6.4月～8月) ・R6到達目標達成率：75.6% ・対前年同期比：101.9%	**C**	**(成果)** ・HP、SNS等の閲覧数、アクセス数等が年々増加 ・観光列車の乗車客にお手振り等の歓迎の取り組みが好評で、駅舎で特産品の購入にもつながっている。 ・新日下川放水路完成式典(4/21)では多くの方が来場されPRができた。 **(課題)** ・アクセス数の増加だけでなく、実際に観光に来てもらい長期滞在・周遊促進に繋げれるような情報発信 ・日高村でしか体験できないインフラツーリズム等の新たな体験観光メニューの開発し、地域事業者と連携し、長期滞在・周遊促進を促すプランの造成 ・日下駅舎の活用 ・整備が進んでいる親水公園の活用 **(今後の方向性)** ・イベント等の情報発信・広報支援 ・インフラツーリズム等を活用した教育旅行向けツール整備や販路開拓に向けて産振アドバイザー制度の活用等を支援 ・日下駅舎での販売実施等の活用の検討 ・イベント等の実施による親水公園の有効活用の検討
			小村神社 周辺イベント 来場者数	2,180人 (R4)	2,750人	3,500人			－ (イベントは秋予定) ・R6到達目標達成率：－ ・対前年同期比：－	**－**	

(2)目標の達成に向けた進捗状況等

※達成度の基準について

進捗状況の基準	
S	数値目標の達成率　110%以上
A	数値目標の達成率　100%以上110%未満
B	数値目標の達成率　　85%以上100%未満
C	数値目標の達成率　　70%以上　85%未満
D	数値目標の達成率　　70%未満
－	達成度の判断が困難なもの

【P(Plan)】								【D(Do)】	【C(Check)】・【A(Action)】		
									現時点の進捗状況		
分野	No.	項目名・実施主体	指標	出発点	R6 到達目標	R9 目標	R6計画	R6取り組み状況	R6到達目標 に対する現状	達成度 (※)	現状分析
観光	29	**日高村能津地区における交流人口の拡大と地域の活性化** (日高村) 【実施主体】 ・◎(株)屋形船仁淀川 ・◎(一社)能津未来 ・◎高知FORESTVISION(株) ・日高村 清流仁淀川の観光屋形船や集落活動センターミライエ、精油製造体験施設など、能津地区の魅力的な観光拠点づくりを行い、観光客の増加により地域の賑わいづくりや地域の活力の維持・向上を図ることにより地域の活性化につなげる。	屋形船乗船者数	5,083人 (R4)	6,875人	8,000人	**1 観光客の受入態勢の充実** (ツアー客の受入強化) ・雨天時の屋形船の代替メニューの造成等の検討 ・ミライエでの昼食や土産物の提供 ・村内事業者と連携した観光商品づくり ・産振アドバイザー制度の活用提案、県主催の研修会等の紹介 (屋形船遊覧ガイドの掘り起こし・スキルアップ) ・ガイド募集チラシの配布 ・ガイド研修会の開催、ガイド組織間での連携、魅力的な観光商品の造成 **2 利用者の満足度向上** (魅力的な観光商品の造成) ・精油製造体験事業の受入れと誘客へ向けた取り組み ・外国人旅行者に対応した体験観光プランの造成 ・地域事業者が連携した観光プランの造成 ・産振アドバイザー制度の活用提案、土佐の観光創生塾等の紹介 **3 国内外に向けた情報発信** (観光客誘致のための情報発信の強化) ・OTAを活用した商品販売の継続 ・(一社)日高村観光協会や(一社)仁淀ブルー観光協議会と連携した情報発信、ホームページ、SNSの活用 ・イベント情報等の広報支援、各種支援制度の情報提供	**1　観光客の受入れ態勢の充実** (ツアー客の受入強化) ・村内事業者と連携した観光商品の販売 ・昼食や土産物の提供((一社)能津未来) ・ミライエでの新メニューの開発 (和風鮎釜飯、冷やしトマトうどん、冷やしトマトラーメン) ・台湾ツアー客の受入れ (屋形船:半数以上が台湾からの月あり(例:6月は約53%)) (高知FORESTRVISION(株):台湾団体客受入 20名以上(5月)) (屋形船遊覧ガイドの掘り起こし・スキルアップ) ・台湾ツアー客に対応したガイド作成に産振アドバイザー制度の活用を検討 **2 利用者の満足度向上** (魅力的な観光商品の造成) ・台湾ツアー客に対応したガイド作成に産振アドバイザー制度の活用を検討 ・国内や台湾の体験客受入(R6.4～7月台湾乗船者数:956人) ・精油蒸留体験、見学ツアーの受入れ(R6.5～8月:28人) ・高知県産材料から60種類以上の精油商品を製造 ・産業振興センターの海外支援アドバイザー等に営業(6月) 外商支援企業への位置づけと外商カタログ掲載を依頼 外商カタログに掲載(10月) ・高知空港に地域本部とともに2回目の営業訪問 →新たに高知空港で販売開始(7/26～) **3　国内外に向けた情報発信** (観光客誘致のための情報発信の強化) ・ミライエでの新メニュー等のSNS発信 ・地域事業者が連携した観光プランの実施・PR (屋形船とミライエの食事組合わせて提供(和風鮎釜飯等)) ・高知FORESTVISION(株)からの情報発信の取り組み ・県内34市町村と連携した地域の香りづくりをプレスリリース(6月) ・精油体験はじゃらんに掲載、インスタグラムで情報発信	4,233人 (R6.4月～8月) ・R6到達目標達成率：147.8% ・対前年同期比：178.9%	**S**	**(成果)** ・台湾ツアーの予約が３月まで入っている((株)屋形船仁淀川) ・台湾ツアー客による販売額の増加(高知FORESTVISION(株)) ・ミライエで昼食、特産品の販売(台湾ツアー等の観光客) ・屋形船仁淀川でミライエのお弁当提供 (4月～8月:744食) ・ミライエで新メニューを開発 **(課題)** ・言語対応等、台湾ツアー客の受入態勢が不十分 ・台湾ツアー客向けだけでなく、ツアー終了後の運営のため、その他の言語対応したガイド作成を行うか検討が必要 ・ツアー会社と連携し、ツアー客の周遊促進に向けた取り組みについて検討が必要 ・高知FORESTVISION(株)の精油の販売拡大・取引先の確保 **(今後の方向性)** ・台湾ツアー客の言語対応に向け産振アドバイザー制度を活用予定 ・各関係団体・各事業者と協議し、台湾ツアー終了後も継続して運営・ツアー客の受入れのためにはどういった商品販売・情報発信が必要かを検討 ・高知FORESTVISION(株)の精油の販売拡大に向けた営業強化
			精油関係事業の売上高 会計年度5月～4月(R5.4月精油製造開始)	－ (R5.4精油製造開始) (R6.3補助事業での整備完了)	30,000千円	30,000千円			1,969千円 (R6.5月～9月) ・R6到達目標達成率：15.8% ・対前年同期比：791.5%	**D**	

2 令和６年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況（交付決定又は採択事業）

単位：千円

取り組み	事業概要	総事業費（補助金額）
■No.２ 日高村まるごとブランド化 （日高村） ※一般事業 10/10 交付決定	・（特非）日高わのわ会のトマト加工場の移転改修及び設備導入による生産能力の向上と販売の拡大	66,711 （40,430）